京城日報

朝刊と合せて八頁

定價 本紙一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢（郵送料共）三ヶ月金壹圓四拾五錢 六ヶ月金貳圓九拾錢 壹ヶ年金五圓六拾錢 ▲郵券代用は二割增
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲一行は二號活字 ▲一行は五號活字同樣の事

發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 淺口政太郎
京城太平通一丁目
發行所 合資會社京城日報社
電話 編輯 營業

時間表 [illegible]

列强大戰亂電報

▲戰費二十五億圓要求

十五日の議會に於て首相は新に二億五千萬磅の戰費の協賛を求むるに方り一般の時局に就き論述する所ある可し戰爭勃發以來協賛を得たる戰費二億一千二百萬磅なり又キチナー陸相は同日上院に於て軍事上の狀勢に就き說明する所ある可し內相マッケナ氏は多分十六日豫算案を提出す可し（倫敦發）

▲英國應募兵三百萬人

倫敦來電に曰く首相アスキス氏は議會に於て發表して曰く戰爭開始以來三百萬人の應募兵ありたり（紐育發）

▲ダ峽片側砲臺沈默

聯合艦隊はダーダネルス海峽亞細亞側の土國砲臺を沈默せしめ上陸軍をして安全ならしめたり（紐育發）

▲羅希塞三國協約成立

雅典來報に曰く羅希塞の三國間に墺獨の攻擊に備ふる密接なる協約成立せるが勃牙利は之に加はらず是れ土勃協約成立に調印されたる結果なり（紐育發）

▲佛砲優秀

巴里來電によれば佛軍の大砲及び小銃の火力は獨軍のそれに比し著しく優秀なり公報に曰くアラス方面にて佛軍の砲火南方シャンペーヌ及びアルゴンヌに向ふ戰線に沿ひて依然活動しつゝありローレン地方にては佛軍の砲火特に著しき効果を奏し獨軍の塹壕及び防禦工事を破壞したりスーシエの北方にて敵軍步兵の行へる襲擊は容易に擊退されたり（倫敦發）

◎「浦風」受領濟

曩に英國に注文したる驅逐艦「浦風」は本月十四日受領せる旨山崎同艦長より海軍省に報告ありたり（東京特電）

◎露軍需品契約
個人にて千七百萬圓

大阪市山口嘉藏氏は露國と軍需品一千七百萬圓の賣買契約を爲し來年五月迄に引渡を了す可き條件なりと（大阪特電）

◎大阪滿鮮貨物停滯

大阪よりの滿鮮行貨物漸次輻輳し昨今其停滯高八百六十噸に達せり此儘にて兩三日經過せんか恐らく一千噸以上の停滯貨物を見る可き模樣なるより晝夜兼行にて其荷捌を爲し荷取好くする外道無き有樣なり（大阪電）

◎尾崎氏の卒業飛行

尾崎行輝氏の卒業飛行第三日は十五日午前六時四十分モ式十九號を操縱し七時十五分無事青山練兵場に著陸同所に御台臨の飛行協會總裁久邇宮少將殿下より有難き御諚を拜し八時十五分交法相を初め多數觀覽者の喝采裡に所澤に向ひ八時三十三分無事所澤に著陸せり之れにて氏の卒業飛行は全く終了したるを以て不日卒業證書授與ある筈なり（東京特電）

◎李伯禮遇復舊

曾て賭博にて禮遇停止を受けし伯爵李址鎔氏は十六日朝鮮貴族令二十一條に依り朝鮮貴族の禮遇停止を解除せらるとの辭令ありたり（東京特電）

◎岡專務阪出技師

京城電氣會社專務、阪出總督府技師の兩氏は十六日午前內地より著釜直に京城へ又橫井農學博士も同じく水原へ向へり（釜山特電）

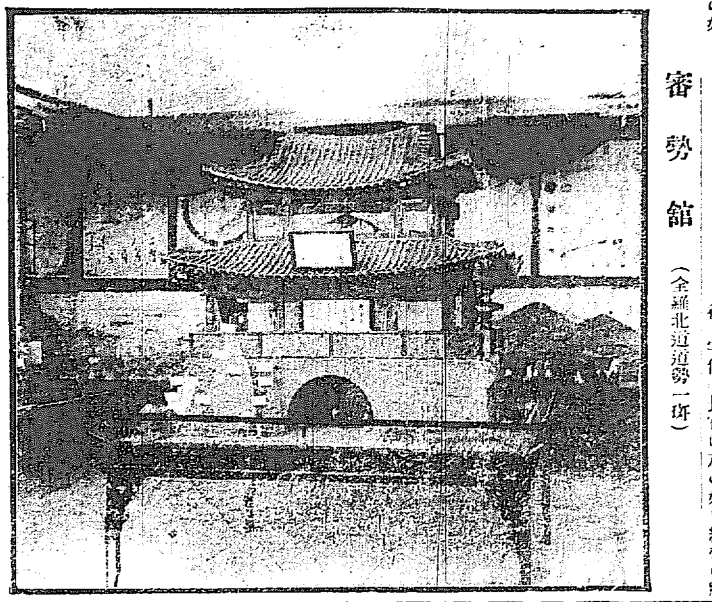
◎神田團長歸鄕

兵庫縣有志滿鮮觀光團長神田兵右衞門氏は一行と別れ引返し十五日夜出發歸國せり（釜山特電）

朝鮮大共進會

▲第二艦隊來航

帝國第二艦隊鹿島、周防、三笠、肥前の四隻は六隻の驅逐艇を從へ十六日舳艫相啣んで佐世保を拔錨せり、十八日仁川に入港し二十五日解纜の筈なるが其內二艦は止まりて閑院宮殿下の御渡鮮を奉迎す可し、仁川碇泊中一般の觀覽を許可すること既記の如し


審勢館（全羅北道道勢一斑）

▲協賛會の記者招待

京城協賛會にては十六日午後四時より協賛會係の各新聞通信記者團數名を慶會樓に招待し茶菓の饗ありたり

◎總督祝辭代讀
救世軍獻堂式に於て

朝鮮救世軍本營新築獻堂式は十五日午後一時より西大門の同所に於て舉行し宇佐美長官は左の如き總督の祝辭を代讀せり

救世軍朝鮮本營の建築新に就り本日を以て其開營式を擧げ本總督亦招請の榮を荷ふを得たり、事故ありて果さず乃ち贈るに辭を以てす顧ふに救世軍が曩に故ブース大將記念のため士官養成學校を設立せしより未だ數年ならずして今や更に輪奐たる本營の竣工を見るに至る固より時運の然らしむる所なりと雖も抑亦ホッカード大佐及び士官各位の奮勵努力に負ふ所決して鮮少にあらざるを信ず朝鮮に於ける今日の救世軍は既に巍然たる本營と堂々たる學校とを備ふ之れを往年の救世軍に比するに迥然として異なるものあり若し之に加ふるに人和を以てし且常に朝鮮の時勢民情に適合することを力めは將來の發展其れ必ず刮目すべきものあらん希くは各位倍々誠意熱心事に膺り故ブース大將の遺志に辜負せざらんことを敢て賜す

▲司令長官入京

第二艦隊司令長官名和中將、司令官森山少將、鹿島艦長島村大佐、三笠艦長久保大佐、肥前艦長中島大佐、周防丸橋大佐、參謀長心得加藤大佐其他艦長幕僚等三十名は十九日入京し寺內總督、井口軍司令官、山縣政務總監等を歷訪、敬意を表したる後巴城館に一泊し二十日退京す可し

▲慶會樓の公開
十六日より階下のみ

京城協賛會にては從來一般に公開せざりし慶會樓の階下を十六日より公開し一般觀覽者に自由に出入せしむることゝなり池に面したる箇所には數脚の椅子をも配置せり

◎下關視察團入京

關門日々新聞社主催朝鮮視察團一行三十四名は十四日釜山上陸以來大邱に一泊到る處各協賛會及び山口縣人會の盛大なる歡迎を受け十六日午前六時四十二分龍山驛著驛前の太陽館に投宿せり一行は十六十七十八日の三日間共進會及び京城視察を爲したる上十九日午前龍山發仁川に赴き同日午後五時同地を發して大田に向ひ同驛より更に湖南線の視察を試み群山、木浦に一泊の上廿三日午前釜山出帆同夜下關に歸著の豫定なるが一行中には平壤及び開城方面の視察希望者もあれば或は旅程を一日繰替へ更に京城か北進するやも圖られずと

◎兵庫縣觀光團出發

入京中なりし兵庫縣有志觀光團一行は十六日午前九時十分南大門發列車にて出發平壤に向へるが一行は豫定の通り同夜平壤へ一泊の上北行の筈

◎米國觀光團退京

朝鮮ホテルに滯在中の米人觀光團ダブリュエシチ、ウエルチ博士外六名は十六日朝南大門發列車にて奉天視察の途に上れり

共進會入場者

共進會の入場者統計は最初共進會協賛係の手に於て取扱ひ居たる際は單に入場者の總數のみを發表したるが其後協賛會の方にて取扱ふことに變更され道別並に各國人別のみとなり居たるが又復變更して今後は單に晝夜別人員のみを發表することゝ決せり

▲十五日（水曜日晴）

晝間	一萬一千八百八人
夜間	五千六百四人
無料	一千四百七十九人
合計	一萬八千八百九十一人

觀覽團消息

▲關門日々新聞主催視察團三十四人 十六日午前入京龍山太陽館に投宿
▲定平郡八十人 十五日午後五時入京
▲新溪郡百三十三人 同上
▲論山郡七十六人 十六日入京
▲坡州郡六百八十二人 同上
▲始興郡九十人 同上
▲通津郡五十人 同上
▲楊州郡八十人 同上

▲『京城電氣株式會社』と改稱

日韓瓦斯電氣株式會社は株主總會に於て社名を『京城電氣株式會社』と改稱することに決議せしことは既報せし所なるが愈々十一日より右改稱名義を使用せり

人事消息

▲釘本藤次郎氏 母堂の訃に接して十四日午前八時三十分南大門驛發歸省
▲岡正矣氏（京城電氣專務） 十六日午後九時南大門驛著歸社
▲阪出鳴海氏（總督府技師） 同上歸
▲橫井農學博士 十六日午前內地より釜山著水原へ
▲小川信一氏（大阪毎日巡回講師） 十五日午後釜山著同上
▲伊藤辰彥氏 同上
▲森田梅吉氏 同上
▲菊池幽芳氏（大阪毎日記者） 十五日夜釜山著大池旅館に
▲矢野恒太氏（第一生命相互會社々長） 廿一日午前來京の筈
▲大橋新太郎氏（京城電氣株主會々長） 同上
▲服部金太郎氏（鮮銀監事） 同上
▲木村誓太郎氏（貴族院議員） 十六日朝八時五十分入京
▲大倉喜七郎氏（實業家） 同日午前奉天へ
▲リュコフ氏（元山露國副領事） 十五日夜長崎より入京
▲丹波四郎氏（醫學博士） 入京中の處十五日水原へ
▲秦秀作氏（平北第一部長） 十五日海州へ
▲伊東四郎氏（憲兵少佐） 同日全州へ
▲菊池伊太郎氏（覆審法院判事） 同日新義州へ
▲櫻井茂三郎氏（忠北警務部長） 十五日淸州へ
▲松井民次郎氏（實業家） 十六日朝入京京城ホテルへ
▲日下部政德氏（法學士） 十五日夜大邱より入京朝鮮ホテルへ投宿

南言北語

凄い揚を見せたり、笑はせたり、驚かせたり、仕組の巫々上手に出來て居る支那の帝政劇も愈々幕切れが近くなつたらしい▲若侍が擔いのブッサキ羽織で刀にそりを打つていや君公の御爲にって事で帝政論をかついで居た籌安會も御苦勞とあつて最う解散を仕相な模樣だ▲イヤ最う閙つたら必要はあるまい、て若侍原は氣が遠くつて家老連中の樣な遠望はないから此の處大活動を要する▲十六日は袁大總統の誕生日である當日大總統は陸海軍大元帥の正裝で天安門樓上に入り國務卿以下を引見し大觀兵式をやる相だ▲最う斯なつて居るもの御遠慮は却て無用此の日が將來十月十日の革命記念日に代つて支那の慶日となるのだらう目出度話だ▲滿蒙の新條約も確定した今日支那では大分利權の進出を防ぐに汲々として居る▲相手の日本はイヤ未だ研究中で御座る考案中で御座るてなことで手の出相な模樣もない、何に日支銀行が出來る、眞面目の話かね、ナーンだホンの大體案の研究だと誰も彼も斯うタカゞゆるんでは仕方がない▲と云つて政治屋や人氣取りの實業家に騷がれても堪らぬ▲現在滿蒙で活動し得べきものは正金も鮮銀もある未だ不足なら東拓が朝鮮に控へて居る▲十年も考へて碌な事も出來ない大正の達磨さん達は其の樣な心配せずに現在の大擴張をやるのが捨石をやれとは大に吾曹の意を得た言葉だ▲取りもしやう取られもしやう手つ取り早いではないか▲市原鮮銀總裁が滿洲に活動するなら今の內に要は其處だ、爺の羣丸位の勝つ玉の大諸葛亮が天下の形勢を說いて曰く一面の碁局のみと流石好い事を云つたものだ▲盛況なりし京城の詩壇は疑日松田學鷗地方に去り、江南江城子滿洲に逝き熊谷鐵城亦病を抱て東京に去る▲時方に秋風索寞たり、詩壇更に蕭條の感禁せず

■京城の學校を巡覽のをり　武岡豐太

學びやの庭の撫子うち揃ひ御國のふりに育つうれしさ
君が代をうたふなゐが諸聲にうれし淚をこぼしつるかな

最新 十五羽養鷄
山形縣立農學校教諭 平藤雄氏著
[illegible]
定價郵稅共 金卅九錢 振替東京一九九三九

甲種農學講義録
此際入會者には大特典多々提供躊躇して此好機逸する勿れ
第三拾三回 新學期開始入會の最好機
會長 大隈伯 講述平易難解の憂なく自宅講習によりて農學校卒業同等の學力を得
詳細は見本付規則書を見よ
見本付規則書無代進呈
東京芝公園五號地 帝國農學會

最新農業十二ヶ月
[illegible]

倉橋惣三先生監修
日本幼年
十月號出づ 壹冊拾錢 郵稅壹錢 半年六拾參錢 壹年壹圓廿錢
□本誌は三歳から十歳までの子供のお友達
□玩具の代りになる教育的な子供繪雜誌
繪の美しい事一等
新の面白い事一等
紙數の多い事一等
値段の安い事一等
□子供はお菓子よりも『日本幼年』を好む
□子を可愛がる方は必ず本誌を薦められよ
畫風の清新なこと一等
色彩の鮮明なこと一等
話題の教育的な事一等
畫題の子供向な事一等
□子供は本誌があればおとなしく遊ぶ
□附錄として切拔きはめ繪を毎號添ふ
東京京橋鍛冶橋外（振替壹壹八壹八） 婦人畫報 少女畫報 日本幼年 發行所 東京社 （全國各書店賣捌）

◎移轉廣告
弊社儀從來元山に於て刊行し來りたるも時勢の要求に鑑み今回半島の首部にして商工業の中心たる當京城に移轉し大に紙面を改良し記事を精選し努力經營以て斯業の發達進步に貢し一は以て江湖の愛顧に酬ひ一は以て國家に貢獻する所あらんとす希くは大方の諸君子幸に微意を諒とせられ愛讀せられんことを
右廣告す
京城黃金町四丁目 朝鮮商報社

機械油カーバイド
車輛機械油 印刷機械油 日本石油會社機械油 九州一手販賣
信濃電氣會社カーバイド 西部一手販賣
本店 門司市露月町（電話四五一五番）
製油所 新潟市笑屋大川前（電話四三三番）
岸商店

入學試驗關門通過の虎の巻出づ
東京日本町 博文館

中學世界增刊 大正四年受驗界
附 官立諸學校入學試驗問題全集
本年の競爭受驗界の大勢 長谷川誠也
△腦髓と小刀
各官立學校入學志願者數入學者數一覽
△各學校入學者名氏一覽
數學試驗問題詳解 竹貫登代多
成績講評 岡田一高教授 山口高商教授 笠原高工教授 岩佐學校教授
受驗講評
實記 一高…受驗生 高商…蓋陽生 醫專…CS生 高工…桂風生
九月十日發行 本號（增大）に限り 正價金卅錢 郵稅二錢

英語世界增刊 英語受驗界
英語入學試驗成績講評 各官立學校教授十三氏
△各校試驗問題の寫眞 △各校受驗記 △大懸賞發表
各專門學校英語入學試驗問題詳解 全國三十五校を網羅す
九月十日發行 本號（倍大）に限 正價金廿錢 郵稅一錢半

朝鮮公論主催 藝妓人氣投票
■いよ〳〵九月二十日が最後の締切
■一刻も油斷する勿れ僅かに五日間

共進會 日本一の庖丁の式

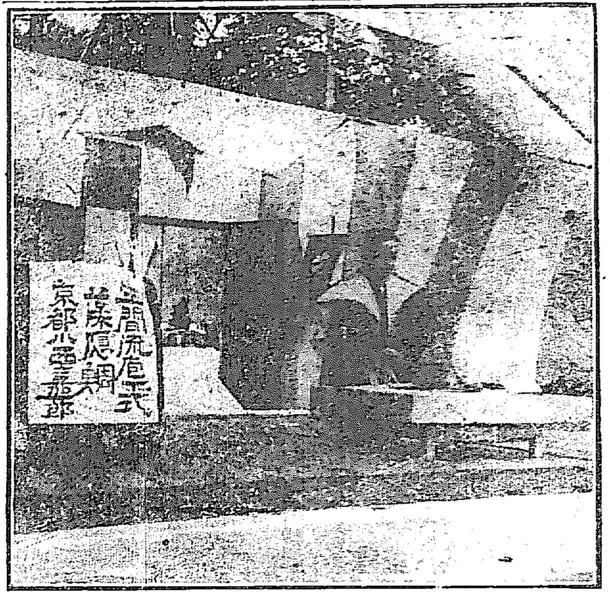
盛況を極めたる日本全國料理業者大會

理元祖の神影を安置し

殷々たる煙竹を合圖に先づ音樂隊の

典雅なる庖丁の式

天高き秋晴れの十六日午前十一時半綠も深き南山公園倭城臺にて第十三回日本全國料理業者大會は開催せられた、此の日主人側なる京城料理屋組合にては早朝より準備に着手し先づ倭城臺を中心として亭々たる松林の中に此所役所の十餘個所に各種の模擬店を設け噴水の後には天幕の壯大なる式場をしつらへ午前十一時には準備全く整つた斯る間に既に入京せる日本全國の料理業者は三々五々南山に登るもの百二十餘名之に京城官民の來賓百二十餘名其他朝鮮地方料理業者等併せて三百餘名の來賓悉く集まるを候ねて用意の十數名の朝鮮音樂隊は耳も聾せん許りの歡迎樂を奏すれば日本内地料理業者は初めて耳にすることゝて何れも驚異の目を瞠はらぬものも無い、斯かる間に正午式場は開かれ間口十間奥行十五間の大式場正面の式臺には金屛風を周らして料



奏する劉喨たる樂聲の裡に京城料理屋組合の代表者□田氏立つて開會の辭を述べ終るや嚴かなる式服着けたる京都小西嘉一郎氏壇上に現はれ生間流の庖丁の式を行つた此の式は庖丁と銀の匙を用ゐて一尺に餘る藻隱れの鯛を料理するものなれど直接魚體に手を觸れざる處に凡ならぬ秘法を示して來賓一同を呼と云はせたそれより木曾名譽會長吉原總裁祝辭を述べ各地料理業代表者の祝辭あり續いて全國各地方よりの祝辭祝電を朗讀し最後に花月主人阿比留氏閉會の辭を讀み記念撮影を爲し此處に目出度式を撤し午後四時散會したるが珍しき會合とて中々の盛況であつた

▽第一流の人々 を網羅して見物する筈でありましたが目下縣會議員及び縣會議員の總選擧を目前に控へ加ふるに御大典や井上侯の葬儀やいろんな事が差閊えた爲め團員も三十四名の少數でありましたが何れも取引上の事や各種の事業に於て最も朝鮮と關係深き人々でありますから這回の見學に得る處が尠くございません尚ほ又釜山大邱等到る處各協贊會及び縣人會の懇篤なる御歡待に一同の

▽深く感謝する 處であります共進會始め到る處容易に朝鮮の視察が能きて一同大滿足でございます猶ほ私は數年前から再三渡鮮しましたが來る度毎に治績の擧り禿山が青くなり水田の設備も内地同様となりつゝあるのは感服の外ございません

毎夜煙花打揚

京城協贊會にては夜間開場の景氣を添へんため十六日夜より毎夜數發の大煙花を打揚ぐることゝなりたれば夜間開場は之れより大に殷振を極むるに至るべし

[illegible]

潛水作業觀覽 仁川の水族館

仁川水族館構内には西北端の突角に池を掘つて海水を導くやうにして居るが此の池の中では十六日から潛水機を使つた潛水夫が海中作業の實況を演ずるので深く鮑、海鼠、海膽採取の狀況から沈沒船引揚の光景を現すのであつて愈々十六日からは幾多の水族と相對して是れ亦一の呼び物となる事である入場券は五錢場内で發賣する事となるのである

案内人を利用せよ

京城協贊會は會場内に數名の案内者を配置しあれども未だ之を利用する者尠き樣なるが右は協贊會より特[illegible]

再び觀よ三度觀よ

家庭博の教訓と効果——趙重應子談

家庭博覽會名譽會長子爵趙重應氏は開會早々會場各館を巡覽して其の設備の整正してゐるのに感心して歸つたが[illegible]

▲是非觀る樣にご勸めて ゐる、從つて私は此の善良にして有益なる家庭博覽會の名譽會長の席を汚した事を最も光榮とし慶幸と心得てゐる、始政五年の紀念圖といふべき共進會は萬人を通じて必要な事であり、且つ大切な事である、共進會は一面に於て隆々振興しつゝある國家の進運を語ると共に殖産興業の緊要なる事を示すものであつて大は道府郡より小は一面一洞に至るまで農事の改良、人文の發達に就いて自他の長所を研究せられつゝある、然れば苟も殖産興業を念とする者再三、或は及ぶべくんば數度行いて之れを觀、然して改良すべきは改良し補ふべきは補ふべきであると同時に又吾が家庭博に就ても

▲研究的に仔細に觀覽 する必要があると思ふ、殖産と謂ひ、興業と謂ふもその元の由て來るところは即ち家庭であるからである、元來人の家庭といふものは容易に窺ひ得べきものではない内地人の家庭然り、朝鮮人の家庭固よりである、日本の家庭を觀んとて徒らに費用を投じて遠く内地に赴きたりとするも雖譯もなく各家庭に出入する事は到底出來ないのである、然るを今回京城日報、毎日申報兩社が主催して家庭博覽會を開き、進歩したる日本の家庭——然も種々の點に亘つて工風せられたる理想の家庭の内容を僅かな金錢を以て一般に縱覽せしむるといふ計畫は洵に時機に適したものであつて、此空前の快擧は今回の時機を失して何時又觀られる時があらう、前にも言ふ通り、殖産興業の進運を來した元は家庭を措いて他には無い、然れば此の

▲國運進歩の基礎で あるとてその家庭博を觀たものは更に未だ見ざるところの人に對してその特色觀察點を敎示し觀覽を勸むると同時に地方等にあつて觀覽出來ざるの士に對しては自分の所感を語り聞かせる樣にしたいものだ、斯くの如くにする時は朝鮮現在の家庭の改善に大なる効果を收め得べき事は期して待つべきものがあるだらうと思ふ

關門名流の觀察團來る

關門日々新聞社主催朝鮮視察團員一行三十四名は去る十四日以來釜山大邱等にて熱誠なる大歡迎を受けつゝ十六日午前六時四十分龍山驛に到着した、一行中には山口縣勸業課長河田門助氏を始め縣下の有力なる實業家多く殊に下關市青年實業家の錚々たる人々を以て滿されて居るが就中六名の婦人團員は一行中に異彩を放ち老齡なる下關商業會議所會頭桝谷氏母堂及び

▽下關の名物女 西村樓女將も見える、團員は何れも朝鮮初見物の人々が多く釜山上陸以來滿目の風物一として珍らしからざるなき有樣であるが殊に大邱に於ては名物の朝鮮市場と妓生踊が大人氣であつた、團長河村峰太郎氏は語つて曰く何分わが山口縣視察團は朝鮮と最も關係深き人々でありますから這回は縣下

◉日韓禪寺の新築落成と講話 花園町なる曹洞宗日韓禪寺は大和町三丁目に[illegible]檀信徒諸士の熱誠と請負人[illegible]の著しき親切なる日々の監督とにより[illegible]沒として自ら溪流を爲せり是偏に佛祖の加護諸天の補助ならむと喜びつゝあり、十六日新築寺院へ内移り[illegible]

九月十八日 土曜 舊八月十日 壬子 [illegible]

アンサン物語

十六日家庭博の運動場へヌツと現はれて人參を三本、梨を四ッ、ペロリと平らげ、尚菓子を一ぱい頰張つて、カチカチ山の附近に頑張りながら厭かな運動場をヂロ〳〵見廻したお猿さん、その名を安さんといひます臺灣の山奥から生捕られて茲に十一年、朝鮮に家庭博覽會が開かれると聞いてわざ〳〵見物に來たのですよく人間に馴れたもので、此方から手を出さなければ朝から晩まで口を上下して天下泰平ですが、若し惡戲をすれば、赤い顔をます〳〵赤くしてキッと齒を剝きます、カチ〳〵山から子供がズル〳〵滑べつて來るのには流石の安さん眼を圓くして恐いてゐます

▲さていつた樣な小意見があつたものだが[illegible]

勿驚瀆職事件記錄 二十四萬枚に達す

[illegible]

記念郵便繪葉書

朝鮮總督府始政五周年記念の爲め記念郵便繪葉書を發行し來十月一日各郵便局及び郵便所より發賣し且つ京城市内各郵便局及び地方重なる郵便局にて特殊通信日附印(記念スタンプ)をも使用せしむ尚日附印の使用は十月一日のみなるも其の以後六日間は公衆の希望に依り郵便物以外の物件に壹錢五厘以上の郵便切手を貼付せるものは其請求に應じ日附印を押捺すと

◉釘本氏母堂死去 釘本藤次郎氏母堂は郷里佐賀縣唐津町西組にて療養中の處死去せしにつき氏は十五日京城發歸郷十七日葬儀十九日歸京の筈

◉連絡船上陸客 十五日朝入[illegible]

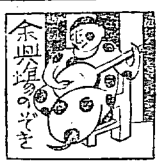
十三陳列 道競べ

眼驚く湖南第一樓 趣向を凝らした全羅北道の出品

[illegible]

▽寫眞や [illegible]

▽直覺的 [illegible]



余興場のぞき

[illegible]

天氣 晴れ後曇り

平壤名産 松茸御料理 …喜樂園の呼物…新園庭の趣向…

秋冷の候四方の御客様には益々御健勝の段奉賀候陳者共進會開會を期とし弊店別館喜樂園の開業致し平壤名産松茸御料理を創め種々御需めに應ずべく候間御贔負各位皆々樣續々來臨の光榮に浴し度伏而奉懇願候 敬白

會席御料理 喜樂 電話五五四番

新荷着

歐米製造元へ注文致置候獵銃獵具類新荷着致候間不相變御愛顧御引立の程奉願上候

横濱市本町 合資會社 金丸銃砲店 電話一五五番

(獵銃定價表郵呈)

四大持色 ▲位置高燥 ▲風景絶佳 ▲家具新調 ▲待遇懇切

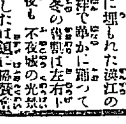
▲御來團の御方は旭町一丁目白石組車帳場にて御案内又は後押仕候間御遠慮なく御命じ被下度候

三階には百疊敷の大廣間ありて團體の御客樣には至極便利に候殊に御宴會御集會等には御便利に御貸與仕候

京城協贊會御指定旅館 京城旭町壹丁目 万千閣 電話二三九〇番

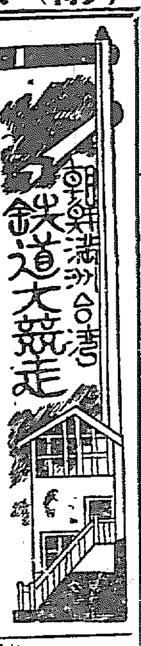
廣島名産 山もみぢ 廣島市平田屋町(電話一六一番) 山脇喜久一 △見本御申越次第無代送呈 東京振替口座一五六六番

簿記學生募集 新學生 寄宿生 校外生 私立認可 日本簿記專修學校 東京市芝區櫻川町十一番



高尚なる家庭の趣味として輕便なる寫眞機を奥様方やお嬢様方にお勧め致します

京城明治町二丁目 寫眞機並材料商 長崎屋商店 電話二二二〇番



南は内地北は大連へ

南行旅程

▲釜山よさらば　別府八百吉

朝鮮の玄關たる釜山はいつ來ても賑やかだ、僕は午後五時下車早々から鐵道局の方々並に其他官民各位より温情籠つた御歡待並に招宴を受け今正に弘濟丸一等船室の人となり玄界灘を横切らんとしてゐる公は晴れて波は頗る靜である顧みれば歡呼聲裡に南大門を出發して以來日を經る事五日京元線より仁川を經て湖南線馬山線を乘り廻り京釜線の出發點に到達したのだが其の既に走行せし哩數は一千二十餘哩の多きに上つてゐる、僕の今後の行程は十六日朝門司上陸、十七日出帆郵船の因幡丸に搭乘熱風吹く南の方臺灣に向はんとするのである、朝鮮鐵道の大部分を知り終りたるに際し此間送迎並に招宴を忝くせし各地の官民各位に衷心より感謝の意を表します、かけて非常の同情と注意を配り僕の旅程を恙なからしめられたる鐵道員諸君殊に東洋諸氏に御禮を申し上ぐる。(十五日午後八時發電)

▲海上靜穩門司へ

別府南行選手は十五日午後五時四十分釜山著官民多數の出迎あり鐵道ホテルにて岡村營業課員、小谷連絡事務所長、堀井驛長、寺澤ホテル主任、松木釜山日報、吉永朝鮮新聞記者諸氏の歡迎宴會に臨席し午後八時半發連絡船弘濟丸にて門司に向へり此日海上無風平穩無事なり(十五日午後九時釜山支局特電)

▲壯快な競走だ

絃月低く玄海灘を照し弘濟丸の一夜は穩かであつた十六日早朝下關著濃い朝霧が關門海峽を包み行き交ふ汽船の汽笛が音太く耳に入る流石に紫色を帶びた故國の山容を温かい氣分はなつかしい僕は行手を急げど十七日夕刻郵船因幡丸が臺灣に向けての出帆迄は自由に休養が出來るのだ弘濟丸では神田兵庫縣視察團長と同乘した氏は『實に壯快な競走だ、若い人は元氣ですナ私は少し用が出來て京城から一行より先發して歸ります朝鮮は有望な處だ共進會も驚く程盛大だつたが今回の旅は私の樣な老人には

北行旅程

▲突破す四百哩　神崎憲一

「急がしすぎた」など語つた(十六日午前八時門司發電)

十五日夜十時四十五分長春驛を辭し直下四百三十七哩を一氣に突破し今や大連に著く、風強く雨降り冬シャツに毛布を重ねてもスチームなき車室は終夜旅人を眠らしめず奉天の朝晴に市中を一巡し沙河、遼陽の戰蹟を追懷し大石橋數分間に初め行くべかりし營口を遠望し二十二時間の住居なりし列車を捨てゝ更に四十分の後旅順に向ひ一泊十七日朝再び引返して商船哈爾賓丸に客となる豫程である(十六日午前八時半大連發電)

▲古戰場を弔ふ

大連四十分の休憩の後終列車にて旅く旅順に向ふ豫定を變更し荷物を助役に託して市中見物をなす暇的もなく支那馬車を驅りて大連市の外觀を視察し十六日午前三時半發貨物列車の車掌室に便乘し六時旅順著久保田驛長は非常なる好意を以て僕を縱橫に引き回し或は山影砲臺等を指揮し又は地圖を指示して十年前の戰蹟に付き語ること詳

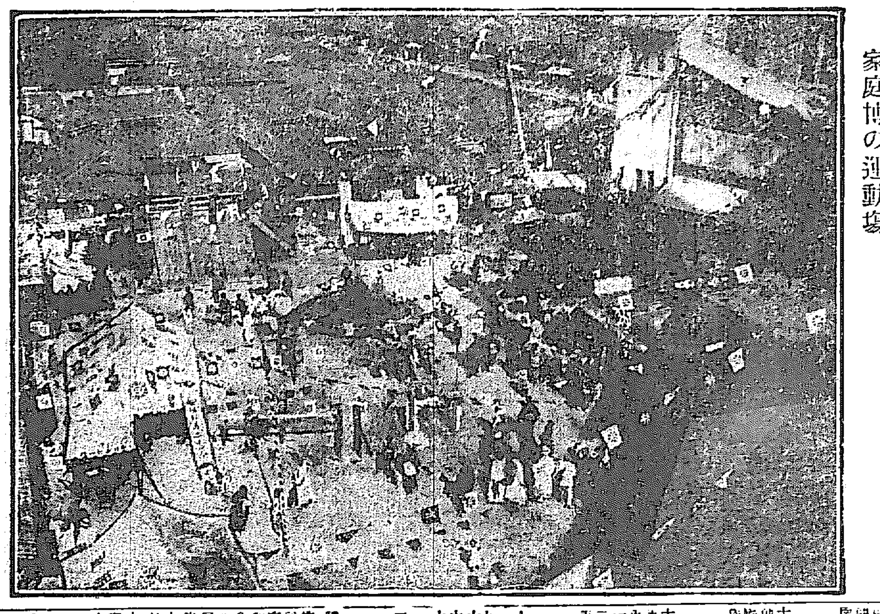
▲細を極む

一杯のコオヒーに朝の腹を造り低徊思ひ盡せぬ古戰場を選みながら五十分にして辭す(十六日午前九時半大連發電)

▲電報訂正

十五日夕刊南行選手發電「木浦の景氣」中「習等貞淡」とあるは「習等トンチル」の誤り「貿易上の利潤」とあるは「貿易家の意匠」奥地は「雜貨品の出廻り」とあるは「奥地境米の出廻り」「勞氣」とあるは「生氣」の誤り亦十四日の朝刊金州平野中十九町歩は「十六萬町歩」の電報誤譯に付訂正す

家庭博後園休憩室の李秉武子夫人


百三十尺の本社高塔上より瞰下したる家庭博の運動場

●全北の生産額
明治四十三年に比し三倍強の増加

今を去る四五年前までは諸計數の調査も不確實を免れず從つて生産額の如き統計に至つては殊に粗笨に流れ易くして正確を期し難く思はれしが地方行政の整理に連れ施政漸く擧り來り總ての調査も粗より精に入る時代と化し諸統計も稍完全に計數さるゝ域に進めり頃者全羅北道廳の調査に係る五大事業としての農産外四年産物の年額を見るに大正三年度に於ける額は實に三千七百四十萬圓の多きを算し左の如くなるが之を過る明治四十三年度の年額千二百五十四萬圓に比すれば約三倍強の多額に上り居れり素より當時の計數には多少の相違ありとするも今日の如き産額の増加を生じ來りしは偏へに産業政策が齎せる良好なる表徴に外ならずして又地方官憲の勸獎と一般的産業思想の煥發に待つもの多きが爲なり

●露獨戰の壯觀は
共進會餘興場のジオラマを見よ

共進會場廢會後裏の興行場では老松の影參差たる林間各種の興業物で場内の人氣を纏めてゐる中にも同所のジオラマは周到なる準備を以て愈よ十六日より開業するに至つたが一般なかくに興味津々たるものである、先づ第一番にはポーランドに於ける露獨大戰の慘狀を現はしたもの獨の砲兵陣地に殺倒したコサックの鐵騎が長槍をしごいで獨軍を突破しつゝある光景である、次は北海に於ける英獨兩艦隊の龍攘虎搏の壯觀砲煙空を立罩めて驅逐艦隼の如く馳驅する海上の光景は蓋し血湧き肉躍るの感がある、次は東洋唯一の絶勝金剛山萬二千峰、萬物相から神溪寺等、九龍淵等を廻轉して見せるのは實寫そのまゝの壯觀である、次は白扇倒にかゝる東海の天、白砂青松の興津海岸であるが何れも實景に髣髴たる背景にて美觀云ふ可らず興行物を訪れたる人々は是非一覽するの必要がある

●群山商議總會

群山商業會議所に於ては十三日午後三時より議員總會を開き役員の選擧を行ひ其他種々協議する處ありたるが當選せる役員左の如し

會頭磯部謙哉、副會頭横山與市、常議員北川醇、同中柴萬吉、同大澤藤十郎、同下田吉太郎、特別議員稅關支署長扁王力藏、同朝鮮銀行出張所長井上正愛、同米穀檢査所長田原進の諸子等なり

診 九月十七日より從前の通り診察す
開 松村醫院

商況

東京株式特電

十六日	前場寄付	大引
日本郵船	九〇、一〇	九〇、四〇
日韓瓦斯		
向島新株	一一八、五〇	一一八、五〇
上新株	九三、八〇	九三、七〇
本日鐘淵		
東株第一	一五三、五〇	一五三、四〇
東株第二	一五三、三〇	一五三、二〇
東新第一	一二七、三〇	一二七、〇〇
東新第二	一二六、九〇	一二六、九〇

東京期米特電

十六日前場	當限	十一月限
寄	一二、三六	
高	一二、三九	
安	一二、二九	
止め	一二、三七	

債券現物特電

十六日出來値段　前日との比較

朝鮮公債	[illegible]
日韓瓦斯	[illegible]
朝鮮銀行	[illegible]
朝鮮瓦斯	[illegible]
南滿鐵道	[illegible]

深川在米特電

十六日	
朝鮮米	四八、四四二
朝鮮米	五二、〇〇二
内國米	一八一〇、一七九

京公債直取引

十六日出來値段		前日との比較
五分利	九五、二〇	
四分利	七九、八〇	
甲號五分	九四、〇〇	

大阪三品特電

十六日前場	寄付	大引
九月限	一一〇、三〇	一一〇、二〇
十月限	一一〇、二〇	一一〇、二〇
十一月限	一一二、九〇	一一二、五〇
十二月限	一一四、三〇	一一三、八〇
一月限	一一五、〇〇	一一四、六〇
二月限	一一六、七〇	

大阪株式特電

種類	拂込	十六日前場止値	同日後場止値
宇治川水	五〇、〇	四七、〇	
神戸電鐵	三九、五	三九、五	
京阪電鐵	五〇、〇		
和歌山紡	二八、〇	二一、〇	
合同紡績	五〇、〇	二八、〇	
岸和田紡	三五、〇	二八、〇	
同上新式	三五、〇	九二、四	
東洋製糖	五〇、〇	六六、〇	
大阪商船	五〇、〇	九一、〇	
日本郵船	五〇、〇	七三、〇	
大阪米穀	五〇、〇	一二四、四	
東京新株	三五、〇	二七、七	
大阪新式	五〇、〇	一四六、〇	

大阪期米特電

十六日前場	當限	中限	先限
寄付	一二、二二	一二、二二	一二、二二
止め	一二、五二		

下關期米特電

十六日前場(一)			
寄附	二八、〇	三三、二〇	三三、三三
高値		三三、三〇	三三、二四
安値		三三、二〇	三三、二九
止め			

雜報

●軍器注文と銅況

倫敦市場に於ける銅價は一時百磅臺を拔かん形勢を示せしが英國政府の高壓を蒙ひたると且つは米國に於ける産銅額は漸次增加し今や戰前の産額に超過せるより商勢俄に一變して四ヶ月相場は低落し武器の進にて銅は遂に八十二磅の新安値を見るに至り伴し倫敦其他市場は今尚新安値に出商談續出されつゝあり居る上に最近聯合國の軍器注文あり此結果として今後一箇年に亘り砲兵工廠は恐らく數萬噸の銅を購入せざるべからずと内地相場は政府相場の前途に拘らず内地相場は依然として最も低く目下砲兵工廠に於ては幾何の銅の買付けを必要とする手筈にて目下未だ買付には著手せざるも商談に於ても何時にても商談に應ずるの準備整ひ居れり

●期米更に不勢

相場の大反動は依然勢甚だしく今前場は大阪十二圓五十一錢より四十三錢に陷り昨今の好調と倶つて人氣は益々軟弱に傾かんとしつゝあり其影響に誘はれる仁川市場も之を眺めて逐に九圓の大關門を打破るが此迄買値に支へ結局メ高に戻して打止め各市場も本順賣の値頃買勢あるものゝ如く底天井の極め付たる秋の彼岸に近づき果して底を突くものなるか今後は波瀾の大を見るに至るが相場なるべし

仁川米豆取引所仲買人
三巳仲買店
仁川港岸町二丁目
電話長三三三

●牛皮手強し

牛皮は大阪牛皮第一號の産地如く大阪牛皮第一號の産地對する各地問屋側の反抗買して一時の安値五十圓臺より六十圓内外迄挽返したるとて此品質の夏付けを呈せるが元來が夏好なる品質の夏

秋皮の出廻り時期

に向ひたるさ且つは本年は手堅き成行きを示しつゝあり

約定成立

に既に文は軍器注文中小銃に付き材料の價格暴騰を恐れて對秘密を守り居れる疑ひあり

厚皮の需要起

て此際大阪市場の當然の成行きにして

異動如何

一活躍あらんやも測り難しさ

●砂糖は軟弱

砂糖は依然賣行き不振にして前途面白からず

賣急ぎ物絶へず

手持筋の賣急ぎあれば向きもあり氣配も漸次軟味を帶びて纏り口十二圓三十錢を普通相場として

纏り口十二圓十錢

にて相場は手持の賣投けに依り安値先ずり安値も見かれ雜摸株

●松茸は漸落

十貫内外の著荷あり相場は前日に比し更に小安く歩並

上物は一貫目三圓五十錢格物二圓内外

の見當にて格別品は一圓四五十錢處の出來もあり

下關相場

○朝鮮米も不味　依然産地上安くは手放し難たるも何分内地正米の不勢を極め居るに近氣の進まざる爲め其後市況面白からずの出來値は左の通りにて其後の輸入は白米三百五十叺のみ○小豆は矢張不味　其後の輸入に過ぎざるも何運れて鬼角買氣の進まざる爲め來賣行き捗々しからず矢張市況面白からず大連物口々を合せて五十袋許りは三圓八十錢に出○大豆は底強し　本品は前報後本山産八十袋五島宇久島産四百五十袋の輸入に過ぎず雜々記戰角産地の人氣安からずして常習の宇久島産四百五十袋九圓五十錢に手合せ行はれたり○肥料の現況　魚肥は其後も多からぬのみならず値頃つり昨今大阪肥其他締柔等の施肥筋も手控へとならざるも有之抔各手持筋は手放し兼たる風情ゆへ前し云にあらず然れども如何にも米價依然不勢を極めに依り賣買の統計は左の通り

名地商況

●釜山(十五日の穀物)

正米(保合)　精米口の買氣みは

▲同一等白米(當用)　十二圓八十錢
▲同二等白米(當用)　十二圓四十五錢

京城正米

▲大豆　新大豆も未だ充分の出廻りもあらざれ共夏大豆は處により皆無の場所もある模樣なれば餘り安値もあらざるべきも先づ今日の處にて十個モチ五十餘個出來せり

南大門の廻米

鳥川玄米	七〇叺	米澤白米 二五七叺
大田白米	六九叺	小井里白 一二叺
大田小麥	二六叺	小井里白 五八叺
鳥致院麥	一三〇叺	金泉部麥 六〇叺
鳥致院麥	三〇叺	天安白米 一八叺
芙江胡麻	七〇叺	水原白米 四八叺
	一一叺	

仁川現物市場

▲籾入津弗々あり
▲正米定期安に連れて附口には相變らず安き賣物尠に依り

生魚市場

前日に比し魚介著荷の少なかりした小堅き氣配なりしが相場は概して一般生魚は概ね高くして

仁川期米

▲十六日前場

大阪前場寄十二圓五十一錢と昨止より三錢高の入電にて當地當九限十五錢中九圓十二錢より〇五錢と押し八錢引先九圓十二錢を四錢高に寄付たるも賣物多くメたる折柄大阪四節四十五錢五節四十三錢

安移りは遂に大關門を打破九圓の

大豆は貢物多く六日の安値に顔合せしたるが引けの先小掬ひに九錢と本月十五錢と散合したり

▲十六日前場

市場零聞

▲前場の激戰

賣六千石買六千石... 買百石(以下賣買數量)

▲前場又不勢

大阪變らざるより九圓十二錢と寄付たるが四ヶ月物月賣物多く九圓の大關門を打破し此處にて安値に顏合

▲安値に顏合

八錢と本月十九錢に於て下げ渋り居る相場は突も大錢にて前月物

▲小掬的に買戻

ありる見込みたる賣込み來る手口なく今の筋の如き一時的に輕りては賣向ひたるも

▲當限の解合

昨前場引後賣買方合意の上當限千七百五十石は九圓四十五錢にて解合成立

當限千七百五十石解合成立

▲在米減少す

昨紙報道の如く十五日調査に係る在庫品は益減少し玄米四萬九千七百四十四叺にて前回より三千七百六十三叺白米六十叺にて前回より三千六百十九俵にて四百九十二俵增し居れり右玄米の内四千二百五十叺は殘

受取米一萬〇五百石

八千餘叺控除

を現今に於ける受渡米は差引き其の中より八千餘叺を控除し

▲現下の正米觀

現下の正米は追々減少し遂には在米の受米は依然として

大連方面青島等輸出口

は無く精米筋は不引なる情況にて

精米筋不引

賣物薄

正米の引張りはあるも

仁川米豆取引所

十六日の十一月限

前場	寄附	高値	安値	止め
一節	九圓十二錢			
二節	九圓十五錢			
三節	八圓九十八錢			
四節	九圓七錢			
五節	九圓四錢			

平均値段　三千百五十石

	出來高	前日比較
九月限	三千百五十石	
十月限	九千二百五十石	
十一月限	一萬二千四百五十石	

寄附	九、〇七
止め	九、〇八
高値	九、一〇
安値	九、〇八

田中
仁川米豆取引所仲買人
田中人
仁川港岸町三丁目
電話長六二八番

▲商船の活躍

北濱だより

商船の今日までの業績は優良の成績を舉ぐべきは疑ひの餘地なき所と共に配當の如きも亦從來の一割二分に增加せらるべきは必然なりとせば今日の時價も割安なりと云ふ説もあり

小賣白米

一等白米	十三錢
次白米	十二錢五厘

秋の腦神經病患者

■辛い厭な病

彼の腦神經に關する病になり易い時は今である。一體秋は何となく物悲しくうら寂しいと誰でも言ふ、畢竟人の精神狀態が其れ丈纖細に感じ易くなつて來るのであるに纖細になつてゐるから損はれ易く、感じ易いから傷められる。普通健康の人でさへ然うである。況して多少とも常に腦神經に關する病、又は故障のある人は、秋に於て特に注意を要する現に

■自殺者が多い

のはこれからである。憂鬱、悲觀、落膽、失望、煩悶などいふものが、時候の寂しさと相俟つて、殊に弱くなった人の精神を搖動かし、不安にさせる。終には腦に神經に故障を起させる。無氣力、倦怠、健忘、頭痛、耳鳴、便秘、食慾不進、逆上、不眠、惡夢、進んで空想、妄想、それから終には腦の全で使へぬ人になるか又は精神病者といふ有難からぬ稱號を附けられるに至るまで、素より其人々の體質にもよるが、秋の今の時候が精神頭腦に及ぼす影響は甚だ大きいから、假令日常健康な人でもよく要心して

■少しでも工合が惡い

やうな時、例へば前述べた頭痛や眩暈や、逆上や便秘其他の病の初歩を起つた時には腦神經の病の初歩として、速く十分の養生をせねと、取返しの附かぬ事になる憂がある。然しでは其養生法はと言ふと滋養ある食餌を攝り、適宜の運動を怠らず、勉めて腦を刺激せざる樣一切の交渉を避くる抔、皆間接の療法であるが一方、

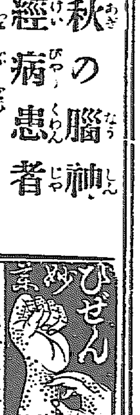
■最善最良の腦病藥

を選擇して服用する必要がある。現今斯界の權威たる島村醫學博士が、其有効を證明せられたる腦神經病の最良藥健腦丸を服用するが一番正確安全な自療法である事をお勸する。此種の病の藥も數へきれぬ程澤山あるが、有繫に多數の患者が實驗して其偉効を認めた健腦丸は處方に於ても原藥に於ても他に比較する者なき腦病藥である。

■論より證據

多數の服用者中には遺傳的の腦病を治癒したり、十年も廿年も連用して偉大な効果を感謝せらるゝ人もある。凡ての腦病、神經衰弱の徴候たる頭痛、便秘、逆上を快くし、常に持藥として恐る可き腦卒中、中風等を未發に防ぎ、頭腦を明快にし、記憶力を增進する驚く可き作用は服用者の實驗せらるゝ處である。藥價は三日分廿錢から五週分二圓迄あつて本舖は大阪心齋橋丹平商會藥房、全國藥店で販賣す。

演藝案内



大阪市西區新町通二丁目 本家 田知本和三郎 謹製 各藥店に販賣す 振替大阪二八八

書畫 實業保證事代理 大家揮毫... 東京丸の内... 具倶樂部内

壽町 電一〇五〇 壽座 當る十五日初日の筈なりしも内地より入の爲め三日延び愈々十八日開演仕候 ▲本月十八日より高等演藝團體... ▲竹本小... 大入の中...

御成町 電話一九一 御成座 第五回替藝題 吉丁字 全六場 渡邊霞亭氏作 右は大車輪大活劇にて演じます ▲登場人名 伊藤美次郎、石黒貞郎、彰井...

明治町 電話二六〇 浪花館 浪界西の横綱 京山若丸 一行來る ▲當る二十日より開演仕候 ▲晴雨に不拘當館は必ず午後七時に開演仕候

龍山 電話六四八番 佐久良座 大阪大歌舞伎芝居大一座 來る十八日午後二時より開演 ▲登場俳優 市川眼笑、市川團我、林長之助、中村成藏、中村雁十郎、尾上卯女鶴、阪東壽郎、市川新昇外五十二名 前狂言「名木千代萩」中狂言 式三番叟「だんまり引拔き」切狂言大喜劇

黄金町四丁目 電話二六三七 黃金館 大寫眞 共進會と三人妻 新派悲劇 二八ヶ原 舊劇 安達ヶ原 泰西活劇 燈臺の秘密 團體御觀覽の節は特に割引御相談に應ず

本町 電一四三四番 世界館 本町有樂館へ移轉の爲休館仕候

櫻井町 電話八七三 大正館 九月十六日より特別大寫眞提供 ●實寫[illegible] ●新派大悲劇「二人妻」全三卷 ●泰西活劇「燈臺の秘密」全三卷 ●舊劇「安達ヶ原」全三卷

太閤政談 越後傳吉

第百五十五席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

日野屋藤右衛門が一伍一什の話しを聞いて 藤『成程、どうも私もそんな事だらうとは思つて居ました、松葉屋全盛の白菊花魁其位ゐの意氣地もあらう、けれども新之助さん是りやアいけねエ兎に角お前さん達は惣合た間にもしろ大金を出して抱へて遊女を連れて逃げるのは宜くねエ、私だこんなやくざ稼業はして居るが道に外れた事は大嫌エで、仁義忠孝の道を守られエものは人間にして人間にあらず、そんなら何故博奕打をして居る盃蓮の上の與取をして居ると言はれりやア一言もねエが是りやア生來好でなつた道だから今更どうする譯にもいかねエ、それでまアお前さん達もさうして伯父様の所へ尋ねてお出でなさる、ヨモヤ伯父様も能く來たとは仰しやるまい、御家中への聞えもありマサカ驪落者を屋敷に置く譯にもいかない、つまり貴方がたは日蔭者で生涯世間を狹く渡らなけりやアならない、そいつはどうも詰らねエ話しだ、それに貴方も兄様がおあんなさる、口でこそ剛い事をいつてお在なすつても腹の中ぢやアどの位ゐ御心配だか知れねエ、又お姉様も義理ある間だけに氣を揉んでお在でなさるに違ひねエ、親なき後は兄様を大切にするが孝行といふもの、悪い事は申しませんから江戸へお歸んなさいまし 新『ヘイ』藤『トいつたつて何もおきみさんとお別れなさいといふのぢやアねエ、思ひ合つた仲だから夫婦になつて暮すのが當然、松葉屋へ話しをして六百兩の金子を出して奇麗に身受けをして天下晴れて三々九度の盃をしたら宜うございませう 新『それは宜いに違ひございませんが、何を申すも部屋住の身で些常り六百兩の事は借いて百兩の金も出來ません 藤『其りやア御道理、私も不思議な御縁でお目にかゝつて何となしに貴方の氣質が氣に入つた、之も何かの因縁でございませう、どうやら他人とは思はれねエ、初めてお目にかゝつて餘計な事をいふ出過ぎものだと思ひなさるかは知らねエが、其六百兩の金子は私が出しませう、私が松葉屋さんにお目にかゝつて奇麗に身受けして差上げませう 新『エッ身受けをして下さる 藤『之も私の道樂だから決して御遠慮にやア及びません、兎に角私に委してお置きなさいまし、私がまアお前様方を夫婦にして進ますから』と日野屋藤右衛門の親切な言葉に、兩人は夢ではないかと思つて居ります、二三日經つて藤右衛門二人を連れて駕籠へ乘つて江戸へ乘込んで參りまして二人は懇意の家へ預けて從いて自身吉原京町の松葉屋へ赴むき主人に面會いたし一伍一什の話しをいたし 藤『さういふ譯でございますから、どうか服部様の方は破談にして私の方へ身受をさして下さいまし此藤右衛門の顔を立てると思召して白菊をお渡し下さるやう』といつて六百兩の金子を差出しました、松葉屋の主人も感心いたして 主『どうもお見上申した御心底、堅氣なものゝ夢にも及ばない所でございます、私も白菊は爲になつた女で當人が々服といふものを無理に服部へやりたくはないそりやア新之助さんとは較べものになりません、若い女の事ですから無理はない、金子さへ頂戴すれば何方へお渡し申すも同じこと、同じことなら新之助さんと夫婦にしてやりたうございます』其れに就いて服部だから六百兩と申しましたが、貴方の方へ賣ふたらば三百兩で宜しい、白菊は今まで可成家のために働いて居りますから、決して私も慾はつて申しません、何貴方が他人のために大金を出しておやんなさる、其義心に對しても私の方で六百兩頂戴は出來ません思ひ切つて半分にお負け申しませう』と松葉屋の主人も大に喜び、藤右衛門も感心して松葉屋は歸り、更めて二人を連れて松葉屋へ進むき、三百兩で身受けを濟ませました、妙な婚禮があればあるもの、之で双方氣持がいゝ、松葉屋の家でも自分の娘分として新之助の嫁にいたしました、白菊新之助の喜びは申す迄もございません、世の中がかう巧くいけば決して心配はない。

◎皇族畫報出づ 上品にして美しき『婦人畫報』及び『少女畫報』の發行を以て有名なる東京京橋區南槇町東京社にては今秋の御大典を永久に記念し奉らんが爲め皇室始め奉り皇族各宮殿下御七十二方の最近御真影御貸下げの光榮を荷ひ御真影を一に集め且兩陛下、皇太子皇子の御日常及び宮家の御身ごもな謹記し特に御録として『天皇陛下侍從』『皇室及び皇族御昇系圖』を添へ廣く一般臣民に頒つことゝせり用紙最上、印刷鮮明、優雅にして、御大典記念として子孫に傳ふるには誠に絶好の書なり、定價金十八錢市内各書店にて賣捌きつゝあり

◎玩具代用の繪雜誌 三歳より十歳までの子供のお友達として東京京橋區南槇町東京社にて發行する『日本幼年』は美しい繪と、面白い噺さを教育的に組み合せたる繪雜誌なるが甚風といひ色彩といひ申分なく殊に紙數の多い割りに價段安ければお子供方のため玩具や菓子の代りに與へたらば其の喜び一方ならざるべし定價拾錢十月號は既に市内各書店にて賣捌きつゝあり

京城協贊會會員廣告 (八回)

京城協贊會ハ左ノ諸法人並諸氏本會々員ニ入會セラレタリ

大正四年九月十五日

始政五年記念朝鮮物産共進會 京城協贊會

贊助會員

小泉昇平 金五圓
大野庄三郎 金五圓
村上秀一 金五圓
岩本雄之進 金五圓
小坂俊雄 金五圓
永山孝造 金五圓
楠田謙之 金五圓
上村為人 金五圓
秋山四郎 金五圓
石川遥一 金五圓
津村甚之助 金五圓
藤巻太一 金五圓
高久敏男 金五圓
松田義雄 金五圓
岡崎嵩平 金五圓

[illegible]

五十錢

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

合計金二千四百四十九圓○九錢
通計金五万九千百九十圓[illegible]

京城日報
年中無休刊
（大祭祝日翌日休刊）
本紙定價 一部金三錢 一ヶ月金五拾錢
發行兼編輯人 …… 印刷人 …… 太平通一丁目
發行所 合資會社京城日報社

第三版

大阪三品

大阪期米特電（十六日）
▲前場 當限寄付十二圓二十錢 △中限寄付十二 …… △先限寄付十二圓五十六錢

仁川米豆取引所
▲十六日後場 △大阪前引四十八錢後寄五十六

▲後場の商戰

十六日の十一月限

朝鮮開發の五年

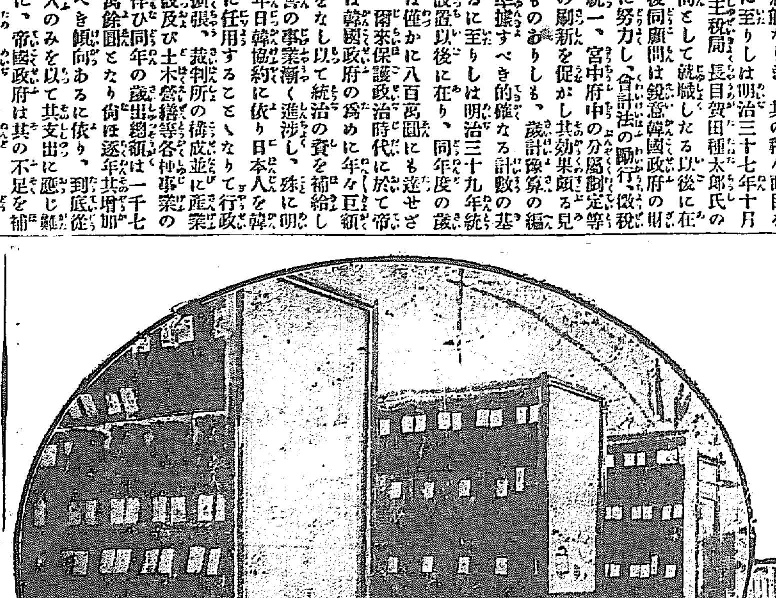
五 財政と金融（一）

過渡期の財政

舊韓國時代に在りては百度弛廢せざるはなかりしが就中財政に至りては殊に紊亂の極に達したり。勿論當時と雖も官制に度支部の設あり毎年歳計の豫算なきに非ざりしも、是れ唯だ一片の形式に止まり、各官廳は任意に支拂命令を發して其の支出を度支部に要求し、或は自から收入し又自ら支出して別途の資金を有し、國庫は其正數を知るに由なく、宮中府中の區別なくして宮內府は任意に數種の租税を徵收して恰かも國庫と對立するの狀あり。税制は複雜にして統一を缺き、幣制亦紊亂し、放漫錯雜殆ど補綴拾收するに困難する財政の狀態なりき。其の稍々面目を改むるに至りしは明治三十七年十月大藏省主税局長目賀田種太郎氏の財政顧問として就職したる以後に在り。爾後同顧問は鋭意韓國政府の財政整理に努力し、會計法の勵行、徵税機關の統一、宮中府中の分離制定等諸制度の刷新を促がし其効果頗る見るべきものありしも、歳計豫算の編成上に準據すべき的確なる計數の基礎を得るに至りしは明治三十九年統監府の設置以後に在り。同年度の歳出總額は僅かに八百萬圓にも達せざりしが、爾來保護政治時代に於て帝國政府は韓國政府の爲めに年々巨額の支出をなし以て統治の資を補給し施政改善の事業漸く進涉し、殊に明治四十年日韓協約に依り日本人を韓國官吏に任用することゝなりて行政各部の擴張、裁判所の構成並に產業上の施設及び土木營繕等各種事業の發展に伴ひ同年の歳出總額は一千七百卅七萬餘圓となり尙ほ逐年其增加を見るべき傾向あるに依り、到底從來の歳入のみを以て其支出に應じ難きが故に、帝國政府は其の不足を補塡せむが爲に明治四十年度より同四十五年に至る六箇年度內に總計一千九百六十八萬二千六百二十三圓を限り無利子無期限にて韓國政府に立替をなすべきことを約定し、爾來年々一百七十萬圓乃至五百二十萬圓を交付し併合當時までに合計一千四百二十餘萬圓を立替へたり。而して韓國政府の歳入歳出は明治四十年度に於て各千七百萬圓、四十二年度に於て各二千九百萬圓なりしが、歳入の立替金なるものは其の實缺損額なるが故に朝鮮の財政が常に困憊の狀態に在りしを知るべし。斯の如き狀態なりしを以て併合後朝鮮總督府の設置せらるゝに至りても、朝鮮に於ける歳入は未だ經費の全部を負擔するに堪へず、而かも總督府當然の施設として將來の生產を促進すべき開發事業には一日も猶豫す可らざるものありしを以て併合に際し朝鮮總督府の收支を特別會計と爲し其の歳入を以て歳出に充て仍ほ足らざる所は帝國一般會計より補充することに定めたり

共進會を見る人に告ぐ（下）

共進會は前に述べた如き趣旨によつて準備せられた、其目的は產業將來の發展を期するといふにある、一般公衆に洽ねく見せたい知らせたいといふのである、されば朝鮮の如き地方をして將來に於て堅實なる發展を期せむとするならば努めて浮華輕佻の風を戒め、眞率堅實にして勤勉力行の美風を養ふやうに指導すべきである。故に共進會の開催に付ても成るべく著實に穩健に風俗を害するやうな仕組を避け、眞面目なる性質のものとしてあるが、併乍ら本來成べく多數の人に見せたいので、それには面白く愉快に朝鮮の實情を知らず不識のうちに會得させるやうな設備が必要である、即ち京城に協贊會が起されて案內接待餘興其他觀覽者の便利を計ることになつたのである。光化門より會場內に入ると、共進會の建物、協贊會の建物、それぞれ意匠裝飾を凝らし光彩陸離として景福宮內は宛然一大歡樂の巷である。併し乍ら歡樂の巷とは申すものゝ、此處が奢侈贅澤の發顯所とでもあるかのやうに思はれては共進會が泣くであらう。著物に目を取られて本體を忘れてはならぬと申すのは此處の事であつて、何よりも希望したいは成るべく詳しく共進會を見て研究をして頂きたいといふのである、勿論專門家や玄人は必ずしも裝飾餘興はなくとも眞面目に見物されるであらうが、素人にとつては質利實益も時には無味乾燥に見える爲め空しく看過される事のないでもない、會場を一巡して見るところ、先づ此の共進會は誰れにでもよくわかるやうに考案を凝らし苦心をした跡が歴然としてわかる。農業にしろ工業にしろ鑛業、水產其の他苟くも朝鮮の產業及び其の產物については實物なり模型なり圖表なりで過去五年發達の狀況が秩序正しく說明されて剩すところがない。朝鮮總督府では定期或は臨時に種々の報告書類を出して施政の狀態を詳しく發表して居るが短い時間に朝鮮全體に關する智識を摑み取るには此の共進會ほど便利適切なものはない、或る意味に於て此共進會は朝鮮學の一大講座と云つて差支はなからうと思ふ。口に朝鮮の農業はなどゝ書類で覺えた怪しい智識を振り蒔く人も共進會の概括的教訓の前には自分の智識の狹かつたのを愧づるのであらう。斯樣の意味に於て共進會の絕大の價値を否定することはできぬ。されば朝鮮に居る人は此れによりて自分の使命を覺り、內地の人は此れによりて朝鮮に關する誤解を拭つて眞正の狀況を知ることが出きやう、其の利益は實に永遠に亙つて大きい筈である。此の意味を以て共進會を最も有益に利用されんことを希望する。一度見たら用が無いと思つたら間違ひで、繰り返へし見るうちに必らず得るところは次第に多くなる。若し頭が疲れたら音樂がある、疲れたら餘興がある、願くば深く見、縱橫に見て共進會の效果を最も有益に利用せられんことを。



（上）煙草の陳列（下）人參耕作の起原を示せる人形（第一號館農業部）

大共進會 出品概觀（四）

第一號館（農業部）

▲囑目すべき牛皮 猛獸棚を開繞する三方の陳列臺には牧草其他飼料、牛皮、猛禽類の剝製及び野獸捕獲器の模型等を陳ぶ、飼料は牧畜の旺盛に伴うて改良の跡著しきを見、牛皮は各道の出品を網羅して其數三十點以上に達せるが品質優良にして調製の方法亦間然する處なく併合當時に於ける朝鮮產牛皮に比すれば霄壤の差あり、農產品中牛皮の輸移出額が今や米に次ぎ而かも前途益多望なるは實に偶然ならざるを知る可し。

▲稻作の年中行事 此處を出て降りの一劃に入れば農商工部の出陳に係る稻作の年中行事あり、場は正方形に劃して二十餘坪を包容し、周圍には播種、灌漑、除草、施肥、收穫、乾燥等二十一枚の繪を揭ぐ、其繪は長さ四尺幅五尺の絹本にして各種の作業狀況を印象的に現はし頗る風致あり、又た場の中央に据えたる横九尺、縱七尺の模型は茅屋を中心として周圍に田圃を設け多數の鮮民各持場に就て年中の行事に忙しみ、屋前の廣庭には籾摺石搌き等の機器を据えて家內打ち集び乾燥調製に餘念なし之れより中央の通路に沿うて北すれば右は東山農場の出陳戶棚を隔てゝ勸業模範場の一劃あり各道種苗場の出陳之れに次ぎ左は各道に於ける代表的農家の經營方法及び成績品の陳列棚ありて煙草、人參等順次相亞げり

▲勸業模範場出品 勸業模範場の一區は農家の副業品よりなれるアーチ形の門を設へ入口に近き大戸棚に裝を凝せる新郎新婦一對の人形を据えて『繩で嫁に遣り繩で嫁を貰ふ』の札を立つ、模範場にては從て場內の小作人を糾合して水原肥料組合なるものを設立し、副業を獎勵して毎夜繩を綯ひ叺を編ましめ之れに依りて得たる金錢を貯蓄して以て冠婚葬祭若くは不時の費に備へしめ居れるが此戶棚と戶棚內とは悉く組合員の出品にて嫁御の衣裳も婚禮の禮服も全く組合員が夜業の貯金に由りて購ひ得たる調度を陳列したるものなり、由來冠婚葬祭は鮮人の一大事にして之れに投ずる費用は却々に少からず、然るに細なる農家の副業を以て易々之を辨し得たる實例を捉へ此處に陳列したる副業の忽にす可からざるを示せる處特筆の價値あり觀客常に蝟集して鮮人男女の歎賞絕えざるは非常の成功といふ可し

東蒙鄭家屯（下）

滿蒙開發重要地點

▽內蒙古市場 として鄭家屯の前途は有望なり洮南の發達近時著しき爲め蒙古貿易市場としての鄭家屯の位置は除り樂觀し難きものあるも附近の開放に伴れ支那農民の來住むもの年々多きを加へ農產物の增殖見るべきものあれば牛馬取引の蒙古市場たりし鄭家屯は轉じて農產物の集散市場となり而して此の方面の發達は頗る目覺しきものあり管內の耕地面積は約三萬五千晌と稱せられ大豆、高粱、粟、大小麥等を產出す此等の穀物は總べて鄭家屯市場に運ばれ陸運又は水運によりて四方に輸出さるゝが故に住民及び附近農民の購買力も漸次增進し綿布を始めとし砂糖、石油、燐寸、煙草など輸入も年次增加しつゝあり油房、燒鍋、磨粉、粉房、其他の小工業も次第に進步し來れり而かも最等の商工業及び農業には一二を除いて日本人の之れに與かるものなく皆悉く支那人の勢力下にあり蒙古人の如きは支那人の奴隷にして其の境遇狀態眞に憐れむべきものあり

▽所謂四鄭線 は四平街鄭家屯間約五十二哩の間に敷設せらるべき鐵道線路にして是れは近き將來に必らず敷設さるべし此の鐵路にして成らば農產物集散市場たる鄭家屯の價値は一層高まるべく其發達更に顯著を加へんこと論を俟たず鄭家屯の稍北方に白音太來といふ處あり馬車一日行程にて達すべく此の附近は東蒙隨一の農產地なれば鄭家屯の發達は延いて此地の發達を促がし四平街と相待つて東蒙開發の上に一新紀元を醸すに至らん白音太來は今日の處僅に戶數四五百戶の小市邑に過ぎざるも鄭家屯と共に發達目覺しきものあり日本人も現に五六名移住し居れり總て此邊は東蒙開發上注意すべき地點と知るべし（完）

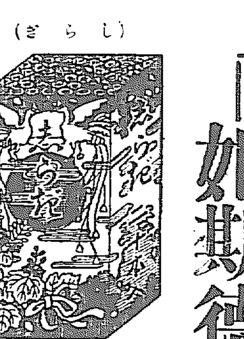
（空袋で家庭博が見られる）

廣江黨の愛煙家は

如斯徳用あり

引換 自九月十七日 至十月卅一日 期間

▽種類▽



（しらぎ）

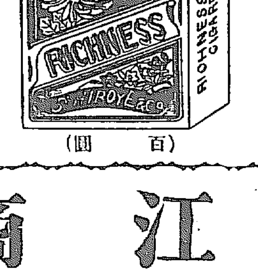
（福德）

□しらぎ 空袋十枚に付 半額入場券一枚呈上
□福德 空袋十枚に付 同 入場券一枚呈上
□カブト 空袋十五枚に付 同 入場券一枚呈上
□百圓 空袋十五枚に付 同 入場券一枚呈上

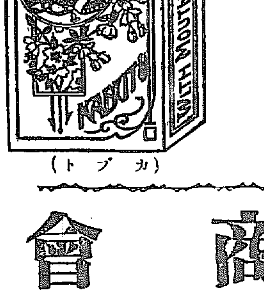
引換場所

京城太平通（京城日報社前） 廣江商會營業部
京城南大門通タイガー隣り 廣江商會總販賣部
京城本町一丁目 寶屋商店
京城本町二丁目 藤田商店
京城本町（停留所角） 岡本商店
京城明治町（四ツ辻） 安武商店
京城櫻井町（大正館隣） 三山園茶舖
京城太平町（多田信託所隣） 伊藤煙草店
舊龍山元町 松屋商店
新龍山三角道路 石川商店

右空袋の交換致候間精々御持參被下度願上候



（百圓）



（カブト）

廣江黨の愛煙家は

如斯利用法あり

京城 廣江商會

列強大戰亂電報

▲獨政府と新軍事公債

巴里特電に曰く獨逸政府は沒收したる外人財産より生ずる收益を擧げて無法にも第四回軍事資金に當てつゝあるは豫ねて知られたる處なるが爾後連日に亙りて瑞西諸新聞は獨逸政府が公債應募者を得んが爲めに努力しつゝある詳報を掲げ居れり之れに依れば獨逸陸軍の重なる御用商人等は其納品價格に對し今回の新軍事公債證券を以て支拂ひを受くることを承諾す可く餘儀なくせられ或製造會社は此新軍事公債證券を以てその利益配當を爲す可しと云ふ官僚連は十箇年賦を以て一箇年間の收入を軍事公債買入に充當する樣勸誘を受けつゝあり街頭、鐵道其他到る所に軍事公債應募勸誘の貼札見受けらると（倫敦發）

▲波斯の形勢愈險惡

波斯の形勢愈險惡となれり土國は引續き擾亂を誘起しつゝありイスパハンの露英兩國領事は去りし商人等は總てテヘランに向け出發したり（倫敦發）

▲匕軍前進

ヒンデンブルグ將軍の率ゆる大軍は北ドウインスク河より南ウイリヤ河（コヴノの東北を流るニーメン河の支流）に至る約百五十哩に亙る全線に於て前進を爲したり（紐育發）

▲捕虜四萬

露國公報に依れば十二、十三日のガリシア攻擊の結果墺獨兵一萬四千を捕虜としたるが之れに依つて八月三十日以來露軍の手に歸したる墺獨兵の捕虜總數四萬以上に達せり（露都發）

▲佛軍奮躍

巴里來電に曰く砲兵隊の活動は何等の變化無く依然として繼續しつゝあり佛軍の砲火はアルゴンヌ方面に於いて殊に著しき効果を奏し敵の砲火をして沈默せしめたり或獨軍の突出要地を甚しく破壞したり（倫敦發）

▲墺國公報確認

南部方面に於ける露軍は引き續き成功しつゝあり墺國公報は十四日朝露軍はストリパ河畔の墺獨軍の新前線を攻擊し露軍は增援を得てウオルヒニアに於ける數個地點を攻擊したる事を確認せり（倫敦發）

◎支那憲法發布近し

久しく喧傳されし立國體形（憲法）法案成り近々參政院にて發表し同院の同意を得て廿日頃正式に公布を見る可しと（東京特電）

◎支那外交會議

對日本案件

袁總統は十四日保國務卿、陸外交總長、朱同次長、梁士詒等を召し外交に關する會議を開けり議題は那邊に關する件其他日支協約事由ならんと

◎御大禮と學校

來る十一月御大典當日に於ける全國諸學校の奉祝順序は文部省にて協議中にして近々決定の筈なるが大躰の順序は君が代、校長の訓話、最敬禮、奉祝唱歌の順序に決す可しと（東京特電）

◎特別市制施行

關東都督府令第二十六號を以て旅順大連兩市に特別市制施行の旨十六日官報を以て公布せられたり（東京特電）

◎增稅問題無根

印度は增稅問題無根の旨カルツタ本邦領事より通電ありたり（大阪特電）

◎乃木氏と授爵

新に伯爵を賜りたる毛利元智氏は十三日乃木に改姓したるも恬は乃木大將の乃木家とは全然別個のものにして此間に親族的關係を有せず即ち新乃木伯爵家は新たに興りたるものなり
新乃木伯の戸籍は左の如し

山口縣豐浦郡長府町 戸主華族元雄弟 毛利元智

大正四年九月十三日麻布材木町七十三番地に乃木氏を稱し授爵に依る一家創立屆出とあり（東京特電）

◎袁總統誕生日

十六日は袁總統誕生日に付き段上將軍張巡按使は同日午前九時より十一時迄一般官民の祝賀を受け袁の肖の前にて祝杯を舉げ總統宛祝電を發せり當日市中は軍隊、警察を除き一般に休業國旗を掲げて慶賀の意を表す（奉天特電）

◎李堈公殿下大邱發

李堈公殿下十四日海印寺より當地着午後一時十八分發の列車にて御歸京の途に就かれたり（大邱特電）

◎長春地方の結霜

長春にては氣溫三度三に降り十六日結霜を見たり昨年より八日早きも農作には何等の被害なし（奉天特電）

◎大阪工廠擴張

大阪砲兵工廠は工場擴張の第一著手として廠內改造築工事に著手すと（大阪特電）

朝鮮大共進會

▲工傳製品即賣

工業傳習所にては毎年春秋二回全工場を開放して一般の人士に作業狀況を參觀せしむると共に非常の安價を以て生徒及び卒業生の製品を即賣し來りたるが本年は共進會場內同所出陳場に於て毎日午前八時より午後四時まで生徒の製作品並に中央試驗所の製品を即賣すること〻なれり此即賣品は數量に限りあれば何時賣切れとなるやも計り難きに付き所望者は一日も早く購買することそ得策なる可し、今即賣製品の主要なるものを擧ぐれば左の如し

▲陶磁器類 高麗燒花瓶、湯呑、筆立、灰皿、香盒、其他
▲化學製品 半紙、卷紙、溫突用紙窓紙、奉書紙、洗濯石鹼、化粧透明石鹼等
▲醸造類 杏質酒、清酒、燒酎（三十五度、四十度、四十五度）
▲染織類 風呂敷、國旗、新羅紙、作詩織敷種、絹綿交織類
▲木工科 本立、木箱、硯箱、机、卓子、腰掛、狀挿、煙草盆、衣紋掛、帽子掛、花臺、織機具、車輛建具等
▲金工科 鋏、手鋏、移植鏝、草搔、金鏝、薪割、如露、バケツ、本立、盥、洗補、柄杓

●水族館觀覽案內

仁川水族館を觀覽せんとする團體は仁川府廳に於ても水族館內に出張所を設け觀光團の案內に盡力する事なれば仁川府廳に申込まれたしと

▲水族館消防隊

仁川署にては水族館內に消防臨時詰所を設置し發火其他の事變ありたる場合は電話二百五十六番に通報されたしとの事なり

●仁川協贊會決議

仁川協贊會部長會議は十五日午後三時より始り左の事項を決定せり（一）軍艦觀覽に對する團體の爲め解船準備する事（二）艦隊員觀迎の件（下士以下には酒を供し將校は招待す）（三）朝鮮人學生團體は一泊三十錢に値下げ一般觀光團（鮮人）は四十錢四十五錢日本人學生團は四十五錢とす

▲忠南共進會觀覽團

忠淸南道に於ては始政五年記念物産共進會觀覽の爲め各郡共に左の日割を以て同地出發觀覽する筈なり因に左の團體は各郡守若くは郡書記をして引率せしむる由

日割	人員	郡別
九月十六日	二五〇	洪城、和山
同　十九日	六五	唐津
同二十一日	一四二	瑞山
同二十二日	一六三	舒川
同二十五日	一五〇	一川、論山
同二十七日	二〇一	公州、天安
同二十八日	五五	扶餘
同　三十日	一六八	舒川、藍山
十月[illegible]日	一八六	燕岐、大田、牙山、溫陽、
同　四日	六五	唐津
同　六日	一五〇	洪城
同　七日	一七七	禮山、瑞山
同　十三日	一八九	公州、天安
同　十五日	五〇	論山
同　十六日	一五二	大田、燕岐
同　十八日	五五	扶餘
同　十九日	一〇七	青陽、瑞山
同二十一日	六五	唐津
同二十二日	二〇一	牙山、天安
同二十五日	一七五	公州、牙山

●忠北共進視察團

共進會に對する忠淸北道各郡の觀光團發日割及び員數豫定は九月十一日忠州觀光團第一班九十人彈琴臺より舟運にて十七日淸州第一班百五十人鳥致院より汽車便十八日丹陽堤川百七十八人彈琴臺より舟便二十五日沃川第一班二百人汽車便二十九日永同二百人汽車便十月三日鎭川二百人成歡より汽車六日槐山百八十人鳥致院より汽車十一日淸州第二班百六十人汽車舟便十三日忠州第二班五十八人彈琴臺より舟便十五日淸州第三班百五十八人十八日陰城百八十人二十七日報恩百人沃川第二班五十一人汽車便にて出發の豫定なりと

雜報

●日本品振はず

滿蒙の支那商工業勃興滿州の日貨排斥は今や殆ど其鋒を鈍かざるも彼の國貨獎勵の下において行はるゝ外品殊に主として日本品に對する取引拒絕は一方支那商工品の製造及び販路擴張と相待つて存外根強きものあるが如し營口の如きは之が爲め日支商の取引今猶ほ行はれず支那製品の賣行良好なるに反して日本品は實行甚だ振はず先づ例年の三割以上にも及ばざるべしと稱せられ流勝奉天においても略ぼ同樣の狀態に在るものゝ如し二年打續いての不作の後を承け一般農家の購買力著しく減退せるは日本商品不振の一原因なるも日貨排斥運動起り次で國貨獎勵の爲め種々の强制を餘儀なくせられつゝあるは其の重なる原因と認めざるを得ず滿洲各地においても近來諸種の企業勃然として起ると同時に在來の支那屋內小工業も此の氣勢に伴れて勃興し例へば織物の如き之が原料を上海方面に仰ぎ以てタウエル、襦帶子、靴下、土布の類を盛んに製造しつゝあるが如き其の一證として看るべし此の傾向は今後益々熾盛に赴くとも衰頽に向ふべしとは思はれず日本商品賣行の不良なる怪むに足らざるなり綿糸布の如き細地物を除き既に英米品を驅逐し殆んど日本品の勢力に歸したるに今やそれも支那自身の製品に移らんとする狀勢ありて油斷なり難し更に東蒙古方面を見れば一種の不買同盟行はれ品質及價格の如何を論せず日本品といへば盲目的に之を排斥し而して是等の支那商人は蒙古人を强制して日本商と親み又は直接取引することを嫌惡とし種々の手段を以て日蒙兩人間の接近に妨害を試みつゝありとの報あり以上何れも悲觀的一方の報道なるも事實は僅かに輕々しき樂觀を許さゞる狀態なるが如し（大連特報）

●村野山人氏は曰く

內地人は大に朝鮮に放資せよ

兵庫縣滿鮮視察團に加はつて入京滯在中の村野山人氏は私財百萬圓を投じて乃木神社設置を思ひ立てるを以て有名なる人なり、曰く余の以前朝鮮に來れるは明治四十三年なるが五年を經過せる今日釜山より京城に來れる

■鐵道沿線 を見るに殖林獎勵のためか五年前に比し山容林相悉くその面目を改め水田の如き穰々の稻波を漂はせ居れる結果の大なるを思ひ朝鮮民族の幸福を祝福するの情に堪へざるものありたり、市街村落の整頓せる事は以前は土方人夫等下級勞働者の多くは身體の各部を露出し居り外來客をして見るに堪へざらしむるものありしが今次京城市中その他に就いて見るに全く昔日の風なく衣服を纏ひ居れるなど社會の秩序の次第に歩を進めゆくを思ひたり、日鮮の關係たる

■神功皇后 以前より興り時に彼我交通し時に併合せんとし親密なる關係を保ちつゝ今日に及びたるが抗すべからざる時勢の要求、社會の變遷は遂に同一國たらしむるに至れるなり、既に斯の如き關係の結ばれたる以上、先進者として財力に於いて、智識に於いて、諸種の點に於いて優越なる地位に在る內地人は後進たる朝鮮人を善導し啓發すべき義務を有す、即ち先づ大に力を朝鮮に致して續々度來し活潑に放資すべし、而して今日よりヨリ以上の

■進步發達 の途を講ずる事に力むべきなり、然かもそれと同時に朝鮮民族にあつても之に對し報謝の念を以て殖産興業に拮据勉勵し產を興し富を造るに心懸く可し是れやがて國家に對し最善の謝意を捧じる所以也、斯くて努力奮勵倦むところなくんば名實共に一等國民たるを得べきなり

●九月上旬鐵道成績

九月上旬に於ける鐵道成績を聞くに乘車人員十二萬六千九百卅一人を減じたるも小手荷物斤數廿七萬二千四百八十六斤、貨物噸數三萬六千百六十噸客車收入八萬九千六百七十圓貨車收入十萬四千六百五十一圓合計收入十九萬四千百二十一圓一日一哩平均收入十九圓二十九錢にして之れを前年同期に對比する時は乘車人員に於て七千九百八十二人小手荷物斤數に於て七萬三千六百廿六斤貨物噸數に於て三千六百六十二噸客車收入に於て一萬百九十一圓貨車收入に於て二萬八千四百八十八圓運輸收入一萬八千二百九十七圓一日一哩平均收入に於て一圓六十錢の增加を示せり（大連特報）

●八月中の穀價

精米尙は下落

總督府の調査に係る八月中の穀價を聞くに米は農繁期に際し出廻品少きも內地市場は槪して氣重く小往來を示したるに過ぎざるを以て精米筋の外趨々しき取引を見ず、大豆は品薄なるも買入なき爲め一般に賣放の模樣あり前月に比し下値を示せり、大麥は新麥の出廻手控え居ること〻て價格安氣配なり、鮮內主要地に於ける平均穀價を擧ぐれば籾は一石上四圓二十二錢、中三圓七十九錢、下三圓三十錢、玄米上九圓十二錢、中八圓七十四錢、下八圓三十四錢、精米上十二圓五十錢、中十一圓七十五錢、下十圓八十三錢、大豆上六圓二十三錢、中五圓八十六錢、下五圓五十五錢、大麥上三圓二十九錢、中二圓九十錢、下二圓六十八錢にして之れを前月に比すれば籾は上七錢、中八錢方昂騰せるも下は十三錢下落し玄米は上八錢、中十九錢上騰せり、又精米は上五錢、中六錢、下十錢方下落し大豆は上十五錢、中二十二錢方何れも下落し下十九錢騰貴、大麥は上一錢、中六錢、下二十二錢の下落なり

●倉庫成績奈何

慶山外十七驛鐵道成績を聞くに入庫數量四百二十三噸出庫數量四百五十九噸倉敷料二百十五圓雜收入十四圓三十二錢合計收入二百廿九圓三十錢にして之れを前年同期に對比する時は入庫數量に於て二百九十四噸出庫數量に於て三百六十二噸收入合計に於て百十六圓十七錢の增收を示せり

●仁川在穀數量

仁川港九月十五日現在の穀物在庫數量を調査するに玄米四萬九千七百四十四叺白米六百四十七叺大豆三千三百九十五叺小豆二千四百十七叺小麥二千九百五十六叺綠豆百二十叺籾三千六百十九俵粉米三百叺胡麻二十三叺糯米五十五叺なり

●淸芙自動車出願

淸州芙江間交通の爲に發起せる忠北自動車運輸社は組長閔泳致副長吉原治三郎兩氏の名義を以て營業許可願を去る七日芙江憲兵分遣所に提出せり淸州芙江間の運賃は一人六十五錢淸州間自動車に比すれば十五錢安値なれば太田內地行旅客の利益なるは勿論公州京城方面行旅客は芙江鳥致院間の汽車賃を支拂ふも尙ほ本線に依る方得策なれば織居自動車が運賃を引下げざる限り旅客は根絶するに至る可きが獨占に狃れ現在の運賃を倘引上げんと揚言せる織居が競爭者を生じたる爲賃率引下を爲すや否や興味ある問題として觀測されつゝあり

□天氣好晴海上平穩

神崎北行選手十六日午前十時哈爾賓丸にて出發す當日天氣好晴波靜にして選手の元氣盛んなり（十六日午前十一時牛大連發）

●木村誓太郎氏入京

貴族院議員木村誓太郎氏は十六日午前入京浦尾旅館に投宿す

●祝賀會出席者入京

十月三日開催さるべき鐵道一千哩祝賀會出席者の鐵道協會員二百九十一名は來る十月一日入京の旨其筋に通知ありたり

●仁川金物商歡迎

仁川內鮮金物商十八名は十八、十九の兩日京城に於て開會の全國金物商聯合大會出席の一行を二十日仁川に招待し最近の仁川を紹介し尙同日正午八阪樓に於て大歡迎會を催すべく十六日仁川の重立ちたる向へも夫々招待狀を發したり

●經學院講師下仁

經學院講師二十餘名は九月十六日視察の爲め下仁即日歸京す

●金警部送別會

仁川署より黃海道南川警察署に轉勤せし警部金允福氏の爲め十四日夜仁川ホテルに於て內鮮有志の送別會を催せり出席者二百餘名盛會なりし

人事消息

▲島德二郞氏（大阪實業家）十六日夜入京天眞樓に投宿
▲水間春明氏（咸北警務部長）歸京中の處十七日朝出發歸任

●資金移動繁忙

八月中の[illegible]需用を喚起せしのみならず鮮人側に於ては清盆節季に對する決濟資金の[illegible]
至らず、金利は內地緩慢の影響を受け[illegible]
於て二百十八萬五千餘圓の跌れも減[illegible]
りては月の初め一方季節柄多少の動[illegible]
つゝ節期を控へある今日一も目星し[illegible]

[illegible]於ては豫定の如く十日午後七時錦江の[illegible]の餠を述べ引續き千朝得意の講談あ[illegible]

[illegible]二百萬弗を以て買却さ[illegible]とのミネソタ號は未だ何處へも賣渡されず[illegible]（大阪）

新秋長夜の佳[illegible]

東京帝國大學法科大學教授 法學博士吉野作造先生著
歐洲動亂史論
▲定價一圓八十錢 ▲郵稅金十二錢

□墺洪國皇儲殿下の暗殺
□墺洪國と塞國
□墺塞の開戰並に露獨佛英の參加
□伊太利の態度
□土耳其の運命

（世評一斑）歐洲動亂史に關する吉野教授の研究は世既に定評あり。本書は筆を如上の事實に染め、材料の精確なる、敍述の綿密なる他に多く其比を見ず、加ふるに索引を附し、地圖を添へ讀者の便に供す。苟くも歐洲動亂の由來及經過を知り、今後の形勢を明かにせんとする者は、必ず一讀せざるべからざる好著なり。

東京日日新聞主幹 羽田浪之紹先生著
成功の大外交家 カヴール全傳
▲定價壹圓 ▲郵稅金八錢

『我名は地に墜つるも伊太利にして存すれば可也』とはカヴールの告白なり。彼れ年少大志を抱き、新聞記者となり、國會議員となり、退隱農家となり、遂に內閣組織者となり、天成の外交手腕を揮ふて、新伊太利を建設せり。彼れ逝いて以來春風秋雨茲に五十有餘年、流風餘韻今猶伊太利國民の胸中を支配す。本書は此偉人の全生涯を傳へて餘蘊なし。

ドクトル湊病院長 湊謙治先生著
肺結核征戰策
▲定價四十錢 ▲郵稅金四錢

文明諸國では年々『肺病』で死ぬ人の數が減じつゝあるのに、獨り日本は之に反對に、歳々增加してゆきます。其原因は我國一般の『肺病』に關する知識に乏しいからであります。本書は『肺病』に對しては、幼稚園程度である我國現狀の要求に迫られて出た、面白く解り易く而かも有益なる著書であります。

在瑞西國 ドクトル メヂチーネ 小田部莊三郎著
歐洲大亂の齎したる一大副產物

新刊
獨逸落ち
獨逸國內情の暴露 一讀驚神駭魄

上製四百五十八頁 定價金九十錢 郵稅八錢

是れ著者が日獨國交斷絕後獨逸官憲に捕はれ約三ケ月間捕虜生活中の僞らざる告白にして日本に於ける最新にして唯一の獨逸國內情の報告書也文明を以て自任する獨逸の野蠻極まる捕虜の待遇交戰國民に對する擧動獨逸國民性の強點並に弱點の研究若しくは捕虜生活中に得たる各交戰國民性內面の暴露或は幽囚呻吟中に於ける自己の感想等を敍記して詳審精刻を極む著者は日本武士的態度を以て努めて公平に眞相を觀察し最も穩健に事實を記述し毫も浮華虛飾の痕なく歐洲大亂中に於ける糾紛せる獨逸の國情と其の內幕とは宛も一大明鏡に懸けて見るが如し加之我が大和民族に對して好個の敵手たる獨逸國民性に就て多大の發明と教訓とを與ふ眞に日本に於ける唯一無二の奇書快著なり

發兌 東京市京橋區尾張町 振替東京五五三番 警醒社書店

酒精アルコール
直輸入元
仁川花町（電話六五〇番）電略（サ）振替口座京城五八二番 坂倉伊平商店
京城吉野町一丁目（電話二四四一番） 坂倉伊平支店

醇良清酒 白鶴
仁川本町三丁目 增本酒店 電話一〇九番 振替京城六一九番

實に美事なものです
下關朝鮮觀光團の共進會見物

私は共進會も色々見ましたが此樣に採光と云ひ道路と云ひ整然としたのは初めてでありまます之は全く敷地が充分にあるからで内地ではとても此樣な餘裕のある場所を得る事は出來ませんそれに建物の具合も實に上手に立派に出來てゐます出品について申せば何よりも彼の模型の多いのには驚いたですね、それは内地人にもいゝ出品に相違ないが朝鮮人には實にいゝ陳列品であると思ひます、實物教育をする上から山林の植樹模型にしても水産や農事の摸型にしても彼れに越したものはありませんね、殊に審勢館や第二號館の陳列は却々新しい方法で經濟や金融の事、司法、警察の事を斯の樣にして出品したのは珍しい、いや始めてゞせう區分の仕方から統計の作り方まで實に面白く且つ行屆いて出來てゐます、その他機械館の瀧の出品の如き實際にポンプを用ひて彼の樣に本水を瀧に流して見せたのは全く今度が始めての事です凡そ大成功と申すの外ありませんね それに朝鮮人の入場者の非常に多いのには驚きました、之れも過去の總督政治の成績を見せると共に將來の施政上如何に多くの効果を齎らすかは云ふまでもない事でせう、本日は午後から各自由行動で内部を見物してゐます、一度是非御社の家庭博へも立寄りたいと思つてゐます

中の京城金融状況を聞くに米穀は引き續き出廻薄なれども共進會開會期切迫の爲め之れに要する雜貨金の…し預金を減じ幾分貸出の増加を示して資金の移動稍頻繁なりしも一般金融の大勢は依然緩慢の域を脱するに…に於て四十五萬五千餘圓を増加せり更に之れを前年同期に對比すれば預金に於て百二十九萬二千餘圓貸出に…

全州地方最近の經濟界は八月中旬に入り幾分活氣付きたるが如きも大體に於て前月と異なる所なく米價に在…地方購買力は減退一方の際とて日用諸雜貨の類概して不捌を免れず殊に新規事業等の計畫更らに顕はれず且…らば多少景氣の動態を見るに至るべし

●公州支局慰藉會 本社公州支局に…は大混雜を極め館内…地なき爲め止を不得表門を閉鎖せり稍ありて丸山支局長は簡單なる開會…

●ミネソタ賣却未定 最近大阪商船への入報によれば愛に…

可愛い見物
十六日の共進會場

十六日の共進會場は引續く晴天の今日は少し汗が滲む程な宵空のすが〳〵しきに昨日にも増した人出十時頃となれば櫻井小學校の生徒五百名ばかり一年と二年の天使の樣な可愛坊ちやん嬢ちやんの間に六年の女生徒が監督かた〴〵混ての見物兄さん姉さんの三四年生は明日五六年生は明後日來るのですと嬉さうに先生の手や足にもつれながら館から館を追うて行く小供丈に動物の標本や魚類に最も興味をもち虎だの猿だの熊だの、標本を見ては恐いなあと云ひつゝも進みよる、水産部の鯨だの海獸の標本にも大恐悦斯くて慶會樓池畔の松林の下で晝食を認め共進會事務所側で茶の饗應を受けて歸つたのは一時過ぎであつた此日外に朝鮮普通學校の生徒二組ばかり教師に引率され又咸南、平北等の鮮人の大團體見物旗押し立て〳〵見物するあり、關門日々主催の下關實業視察團若干名の隊を爲して觀覽するあり非常の賑ひであつた、同團體は午前中慶會樓で協贊會の茶菓の饗應を受け十分の滿足で各部を仔細に見物して午後四時頃一と先づ龍山の太陽館に歸宿した

博愛館
思政殿内赤十字社の珍出品

共進會場内の一號館二號館鐵道館など總て華やかな方面を視た人は更に美術館と機械館の側から進んで思政殿内博愛館を覧るを忘れてはならぬ。思政殿は雄大なる勤政殿の後方景福宮の奥庭に在つて此邊靑丹よし古き

▽朝鮮式の建築が李朝のむかしを偲ばしめ何となく懐古的の落付いた氣分に打たれる場處である思政殿は博愛館と銘打つた赤十字社及び愛國婦人會朝鮮支部の出品で滿されて居るが先づ赤十字の紋を記した埓内に入りて正面の扁額を見れば赤十字社總裁閑院宮殿下の御肖像と愛國婦人會總裁閑院宮妃殿下の御肖像が掲げられ其の下には赤十字救護班の紅き心を現した等身大の人形と美しい油繪の背景がある。人形は一人の醫者が朝鮮中流婦人の診察を試みて居るところで其の傍らには又可愛らしい朝鮮の少女と内地人の看護婦が立つてゐる。背景は又赤十字救護班天幕と擔架を擔ふた人々などを描いてゐるが兩方共洵に立派な出來榮えで日鮮人の觀客には非常に

▽快よき感じを與へて居る。又左方の額には日本赤十字社の起源たる西南戰爭當時の博愛社の働らきを描いた油繪があり新らしい方では昨今歐洲戰亂に參加して露英佛國に赴いた大和乙女の凛々しい寫眞もある。其他靑島病院外科手術の光寫等各種の寫眞とり〴〵に美しく下には輕便手術臺輕便寢臺等の實物を始め新式汽車寢臺と稱する物もある これは病傷者を擔架のまゝで列車中に擔ぎ込みばねの仕組にて車の動搖を避けたもの見物の門外漢には頗る感嘆させる出品である、其他擔架、攜帶手術臺、救護材料、作業衣等幾多の出品があり寫眞には日本赤十字社始め愛國婦人會に干繫ある人々のものや赤十字社の病院船弘濟丸博愛丸等の氣高き姿も見えて居る。其他赤十字社の徽章や功勞者に授與する金銀木盃の類さては赤十字社救護看護婦生徒の生活振寫眞、澤山の

▽救護材料 等とり〴〵に優しき出品である。中にも救護材料の一切を容れた鞄の裡にズック製の疊みバケツまであるのは面白い用意と思ふ。猶ほ此所では博愛館の趣旨により會場内を巡覽して疲れた人々の爲めに休憩用のベンチを設け且つお茶を供する用意もある兎に角奧の康寧殿裡の美術參考館を見物かた〴〵一覽すべきところであらう

役所歸り
お猿さんで賑はつた運動場

十六日は前日程ではなかつたが開場早々江原道江陵、郡黄海道平山郡忠淸南道公州の各觀光團數百名が繰込んで來て巡覽したのを始めに家族連れの入場がある、運動場はお猿の安さんが人蔘を嚙りながら齒を剝いて怒るのが面白いので大供も子供も寄て大賑ひ午後宮館署長と共に來た瀧警務部長は熱心に觀て廻たが子供の負方を觀て『これは是非一度家族の者を寄越さなければ可かん、下女先生子供を負うたまゝ俯向になつて洗濯してる事がある、あんな事をされちやあ敵はん』といふ、看護室では新式の氷嚢を吊る器械、氷驟などを觀て『成程之れは好い』といふ、四時過ぎ役所歸りの人が大分來たが流石に婦人連とは違つてどん〳〵觀て歩いた。

乃木新伯爵
故乃木將軍の墓に詣づ

南山公園に於ける全國料理業者大會

(三) 狹い臺所
太郎さん記

朝鮮人の子供が酒盛をしてゐる樣な繪が描いてあるので何だらうと思つて行つて見たら京城酒商組合出品として正宗だの有喜だの種んなお酒の甁の小さいのが澤山積んであつたお父様が見ると善ぶだらうと思ふ、お母様と姉様は實驗室の前に立つて見てゐる、暖房裝置の臺所だといふ、温暖だつて同じだらうと言つたらハイカラ好きな姉さんは『違ふわ』と言つた、琴盤だの茶器だの、香爐だの膳だのがあつて床の間に『積善之家必有余慶』と書いた軸が架つてゐた組屋なんか敵わつてゐないや』つて言つてやつたら姉様に睨まれた、その次ぎの四疊半の臺所のところへ來ると、お母様も姉様も一生懸命觀てゐる『これはいゝ』と上の說明の紙を見てはお母様がしきりに感心してゐる、流しが臺所の眞中にあつて戸棚や吊棚が澤山あるのと澤山な臺所道具がキチンと置いて在るのより外に僕の家の臺所と違つたところはないさ思つたが姉様だのお母様は說明を見ては臺所を覗き込んで何か言つて頷き合つてゐる『入澤さんつて方は頭のいゝ方ね』と姉様が言ふ

□お母様は『家の臺所も最少し整理しなくつては可けないよ』とねへやに言ふ、ねへやもしきりに見てゐたその間、澤山の人が僕等の上からのしかゝつてくるので煩さくなつたから僕は此處を出た。すると小さな室に『衛生參考室』となつて齒の衛生に關する事が詳しく出てゐる、僕なんか齒が丈夫だからいゝが齒の弱いものは叮嚀に見ると大變參考になるだらうと思ふ、次ぎの家庭用の醫療器械の室には大分必要なものがある、此處の先きから三號館だ、一疊半の臺所さいふのがある、これは又四疊半から見ると非常に狹いもので米櫃が棚の上にあつて底を除ると米が出て來る樣になつて居つた引出の樣なものを抜き出すと板が出て物を置く臺になる、下を開けると炭や薪を入れる樣になつてる、此の狹い臺所の中に日常用の什器、客用の什器だのが三百餘種ある、それで十人前の料理が出來ますと看手の女の人がいふ『こんなに狹くつても出來るもんでせうか』と姉様が質問を發するとお母様は『矢張り臺所ばかり廣くしても不潔にしたり締りがなくつては同じだから此の位でも結構出來るんでせうよ』と言つた

■室の中にはお爺さんとお嬶さんがゐてお爺さんは兩手でお茶を呑んでゐた何とか流といふんださうだが僕は忘れて終つたお爺さんもお嬶さんもない僕の家には怎んな部屋は無いので面白くもなかつたが、お母様が『太郎、お母様がお嬶さんになつたらこんな隱居所を建てゝお呉れかへ』つて笑ひながら訊かれたので『エヽ屹度立派なのを造りますよ』と言つた。養老室の横には庭があつたその次ぎの下女室にはねへやよりズツときれいな下女の人形があつた『ねへやの部屋より餘程綺麗だい』

第十三回全國料理業者大會の本會議は十六日午後二時に終つて夫れから直ぐ記念撮影をやつた▲何がさて日本から來た料理屋の主人が百餘名、夫れに京城の料理屋が全部と料理業者大會から招待された粹な人など都合三百と云ふのだから堪らない▲一寸盲を云ふても風落交り▲寫眞を撮ると濟ぐ煙竹を合圖に十幾つの模擬店は一時に開かれる▲藝者や妓生はお手のもの丈ありて知々に酒肴が行き屆いて藝妓もこれを先途と手に鉢かけてお酒と麥酒とつぐ▲常時もの實行と違つて朝鮮料理は大繁昌、明月館は最後まで大入滿員の盛▲長らく朝鮮に居た人でも食べた事のない朝鮮料理も流石に商

□竣工せる造酒殿

十一月十四日の大嘗祭に天皇陛下には悠紀主基兩殿の新殿より醸る白酒黑酒を天神地祇に御饗せさせ給ひ御大禮終れば畏き

▽大御心 をもて大饗第一日には特に此の白酒黑酒を參列諸員に賜はる趣きにて古式に依り造酒殿は京都上賀茂別雷神社の境内御手洗川の畔に御造營工事中なりしが十日全く竣工し十三日田村宮司以下祭官並びに大禮使職員參列し清淨の式を擧行さるゝ事となりたり、造酒殿は境内の東方に位し古松老杉枝を交へ御手洗川の水潺々として其前を流れ居れり正面より拜すれば入口の右側には三間半に五間の酒部詰所、中央に三間に五間の平家あり之ぞ造酒殿にして南側には檜皮葺一間半四方の麴室あり御殿は杉丸太の黒木を以て組み門内の北側一段高き所は井戸は其の北部にあり孰も明治天皇の

▽御即位 當時用ゐられし造酒殿の跡に設けられたる物にて用材は杉檜の白木作りにて釘を用ゐらず壯嚴の氣更に深し、造酒部職員の談に依れば白酒黒酒の事は天孫瓊々杵尊高千穗の峯に降臨の後新穀を以て先づ天照大神を享拜し報反の敬を盡され爾來我が皇室の常例となり歷代順承せられ給ふ然して愈々祭事の御當日には之を

▽大嘗宮 に運搬し時刻に及び宵の祭事を執行に就き悠紀殿に御渡ありて陛下親ら之を執りて獻らせ給ふ祭仕果るや暫らく廻立殿に臨御あらせられ曉に及んで更に又主基殿に臨御あらせられ宵の式の如く供祭あらせ給ひ終れば徹宵し以て翌朝を享祭し給ひ其翌日の大饗に至りて此の白黒二種の御酒を臣下にも賜はるものなり、今回醸造さるべき白酒黑酒は約二石にて水は御井水舍より汲出の清水を用ゐらるべく米一石の分量中二斗八升六合を麹とし七斗一升四合を飯となし水五斗に合して一甕に容れ一斗七升八合五勺の濁酒即ち御酒にて之れ所謂白酒なるが黒酒は之に久佐木灰三升を和合して醸らるべしと尚醸造者の東京府島酒兵衛氏は不日酒師を連て入洛し醸釀の準備に着手する筈なりと(在阪記者)

賣店廻り
▽大の朝鮮通になれ

□共進會の効能は、ではお二三の利益、共進會の利益、餘り唄ひ出しになる、共進會の利益、餘りに小面倒だ、何さ、そんなことは云はずもだ、共進會の有難さを先づ一番に申し述ぶるならば、一歩居ながら景福宮内に運んで一日ぶら〳〵とさしたそれ丈で□大の朝鮮通になれる、そこである、内地から來た觀光客の審ぶもけだしその邊が大いにーありやせう、酔くもだ、共進會を覽からし物するならば、南は濟州島、鬱陵島の避地から、北に豆滿江の國境、鴨綠江の上流に至るまで、殊假し盡してムる、殊に旅行につき物語も出來やうと云ふもの、夫でだ、それもわけはごもの、土産物は如何めさる、正門から入つた人は演藝館から左へ迎はせん、正門から入つた人は迎秋門に出様とする時、迎秋門から入口から、北南に並ぶ賣店に御氣付でかなあらう、北は朝鮮各地の代表的商店の出張店で南は朝鮮各道の道の賣店と組合商の賣店である、試みにこゝを一巡すれば、共進會内で拜見した各地の名產、名物、特產品、何一つ無いものはないのみか安くて、旅費が要らぬとは何んと便利お誂向至極ではムさらぬか、先づ

▽手取り早い 所が搭樓の二基立てる南側の入口の右なる恩賜授產場の賣店に入つたとする、大正織、紬織、南山織、■朝鮮織物のその原料から、授產場まで同授產場の生徒の手に成れる上等品、反物もある、絹絲にしても一反十五錢といふ安價で求められる、その左側は全南の賣店であるが、それから足を踏み込めば、まあ〳〵財布に御用心めされと云ひたい程、買ひたいものばかり、その何々があると、一々書いては盡きなく、北に並ぶ賣店が、押すな〳〵の來客に賑の廻る忙しさを見ても一度や二度は是非立寄られねばならぬ所であるか解らう、一寸子供への土産の玩具や、お菓子の樣なものから、古來の叔父さんへは持つてこいの朝鮮古本や、鴨綠江畔の玉細工、各地の石細工、食料品、織物、陶器、籠物と實にこの店を一巡すれば朝鮮十三道の名物名產の土產物が一度に覽るのだ—餘りに便利過ぎるほどに—

▲十七日の演藝館 共進會も日を經るに從び觀客次第に殖えて演藝館は毎日毎夜滿員の有樣十七日の出番は中券と妓生は廣橋組合なりと夜間の活動寫眞も十七日より替へ日新らしきものを見する由

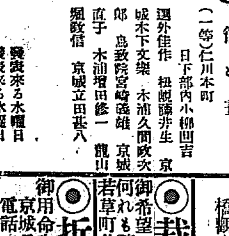
▲共進會演藝館 十七日夜の活動寫眞は一、エリレール一、大きな煩惱一、シモンノ留守宿一、サルシオ子島一、學問好き一、後期せる盜棒一、佛國民軍探偵と何れも新物の封切りものばかり

▲御成座 十七日の藝題は渡邊霞亭氏作『吉丁字』全六場なりと

▲眼笑一座乘込み 大阪歌舞伎俳優にて二枚まで千兩を入れ居れりと云ふ五十餘名の同一座愈々十七日夜龍山警察花打揚樂花々しき乘込みをなし十八日午前町廻りをなし午後二時より龍山三角地佐久良座にて花々敷開演する由

▲若丸の乘込期 浪花節にて出演の筈なる京山若丸は愈々來る十九日乘り込み之に決し二十日より出演する筈なるが出物は南人得意の召集令、春日若子、乃木大將等を出し特に乃木大將は同人特意のものにて今回は毎夜一席宛出す由

讀者文藝(一等には五十錢の書籍切手贈呈)



筱め 甚

(一等)仁川本町 日下部内 小柳四吉

選外佳作 枡艇蹟井生 京城 木下文樂 木浦 久間欧次郎 島致院 宮崎義雄 京城 直子 木浦 增田修一 龍山 颯致信 京城 立田甚八

次回指め給 歌題『秋の歌』 發表來る水曜日 俳句『新涼』一人一句 發表來る水曜日 俗謠『飛行機』 發表來る土曜日 發表 明日

大割引 自動車
新羅一千年間の舊都(朝鮮の奈良)慶州に遊べ京釜線大邱驛より快走タッタ二時間さ半!!更らに一時間にして迎日灣浦項港に達す

一木材三萬四千五百七十二才 一板一千三十六坪 右競爭入札ニ付ス詳細ハ九月十八日以後ノ朝鮮總督府官報又ハ本府ノ掲示ヲ見ヨ 朝鮮總督府

購買入札公告 一集配鞄墓口八百貳拾個 右詳細ハ昨日ノ總督府官報ニ在リ 大正四年九月十七日 朝鮮總督府遞信局

親切叮嚀 客室完備 平壤大和町 松岡旅館 電話三〇五番

朝米 (正)橋本猶作 致富之寶無代進呈 前金註文は紹介を要せず 大阪堂島米穀取引所仲買人 電話長東 振替口座大阪二四一七二

外科 内科 小兒病 (入院隨意) 梅毒、淋疾 皮膚病 痔、肛門病 腦、耳鼻咽喉科 京城吉野町(電話二三三六番) 院長 島崎龍一 島崎病院

爾今禁酒仕候 京城御成町 山口傳藏

永樂町本願寺通 割烹 鳥都

御案内 遊漁船 仁川水族舘正門前 釣道具 御小賣 芹川漁具店 電話七五四番

京日案内 ◎番外 一回前金六十錢(無割引) 匿名一回毎に金五錢増

◎訂正 十六日夕刊第一面仁川料理屋組合廣告中『二羽鶴銘酒二百本宅合名會社』とありしは二羽鶴大盃寄贈宅合名會社仁川支店の誤に付訂正

給仕入用 年齢十四五歳志望者は午前九時より午後四時迄に履歴書携帶來談あれ 京城黄金町 有隣生命保險朝鮮支部 551

◎古着古道具類一般 右御一報次第高價に買受候 黄金町三丁目 電話二四三四 四宮商店 531

祝共進會開催 京城水標橋觀水洞 東興隆本店 電話二千〇七三番 552

◎裁縫を主とし實用的に教授す 御希望に依り生田流琴曲、池坊生花何れも隨意親切に教授す 若草町廿六番ポスト入 森裁縫所 537

◎折詰 共進會御持參用 御用命次第迅速御便利に御届仕候 京城日報社正面 電話取次五三 魚房 536

◎共進會記念集合撮影 寫眞 門鑑寫眞迅速調製 定價卅錢 本町二丁目總督府御用 浦尾旅館前 金田寫眞館 529

●武術刀劍柔道衣 文武官用刀一般製作修理古刀買入 京城明治町 電取次四二七一 堀刀劍店 504

◎集合寫眞撮影 共進會期中集合寫眞其他割引仕候 黄金町二丁目 電話一四三四 高等寫眞館 493

◎釣道具綱類一式 並に網類修繕仕候 永樂町通 相馬屋漁具店 492

古本は野村に限る 買入讀書御希望者上(電二六三八番) 京城本町一丁目 明治町下る 野村書店 457

●ほねつぎ(うちみくじき)等 一切の治療御依頼に應す 明治町 柔術道場 452

賣地 京城南大門通殖家屋の敷地凡そ卄九坪望の御方は 黄金町一丁目 電話一〇一五 喜多金光堂へ御來談を乞ふ 447

恩給年金類立替 京城武橋町二十三番地 京城日報社北右に入 電話二二八三番 國江商會 425

學理應用鍼術所 諸病應用小兒病に有効出島忠勝 城旭町二丁目成身院へ仁川仲町三丁目四九番地月毎十六日より廿日出張 549

◎朝鮮に二つとなき製造工業 主人病氣歸國に付至急讓渡し度し資金要五百圓純益月百五十圓以上 明治元階町明治湯隣 永井小間物店 545

◎共進會無料出入 門鑑寫眞は共進會御指定當舘に御出なさい非常な便利を計ります 共進會場内東亞煙草廣告塔の下 エム寫眞館出張館(本舘龍山 電六三五) 539

◎土産品は翡翠に限る 明治町二丁目村井商會取次 電二 朝鮮一番櫻井町二丁目 名產高麗豆元 五九一番 珍菓新羅豆祖 目村井商會取次 電話二二三六八番 544

オモチヤ 共進會歸りの土產品に御兒樣達のオモチャ 店は京城明治町二丁目 電話一八四〇番 吉岡玩具店 500

店員入用 呉服太物商に經驗ある者年齢十五歳以上廿二歳迄の身元保證人ある者希望者は履歷書攜帶本人來談あれ 京城本町一丁目 ますや呉服店 525

諸鳥羽製品 剝製標本類 弓矢一式 附屬品 京城本町三丁目四二 早瀨商店 494

◎普通 一回前金三十錢(無割引) 匿名一回毎に金五錢増

◎求婚 年廿より廿五歳迄の婦を求む當方勤人血統其他正希望者履歷書及寫眞攜行來話又郵送姓名住所秘 55

◎花柳病請合藥 りん病ばい毒にて御困りの諸君は一度試に來店あれ 專門藥房 京城黄金町ドラック支店 553

◎有望職業 郵券八錢送れ見本添へ即答▲ゴム玩具サック類大販賣 京城太平通電話四八八大正洋行 416

◎有給外交員採用 希望者履歷書攜帶本人來談最も高尚の永續事業 花園町二一帝國圖書普及會朝鮮支部 547

◎寫眞技士 知人性温順技術優秀なる寫眞館至急雇入たし 大連西公園ヌ區一六ノ六 飯盛 540

◎店員傭入 十七八より廿五位呉服商に經驗有る者一名希望者は履歷書送れ 春川邑内大和屋呉服店 542

◎女中口入 官吏商家旅舘下宿屋 ◯◯◯◯◯◯ 明治町二丁目 萬年社 電一八四四 316

◎給事五名採用 年齢十五六歳身元確實なる者希望者は本人至急來談あれ 明治町 日韓印刷株式會社 532

瓢の旗風（554）

番衆潑人　筒井年峰畫

詭策（廿一）

『これは、さて、如何なる御望み……』

何がさて此方が弱味と云ふのであるから、さてもこれは如何なる難題をと、眉を顰める右京亮。

『何さ、何さ……』と長秀は事も無げに微笑んで。

『其樣に、氣遣はるゝ事では御坐らぬわよ。何がさて、筑前も、私に兵を進めたので無い。三法師君の御代官として、まづ、其役目の表を紮さうと斯く出陣をしたのぢや。されば、陣の引くとしても其處には何等かの名目無くては相成らぬ。ほんのそれ、其形ばかりの名目ぢや、其處で我等相談の上、あの和子をのう……』

『飛龍丸樣で御坐るかナ。』

『左樣ぢや。何がさて三法師樣の弟御、まだ襁褓の中に居らせられるちやが、あの御を奉じて、岐阜に歸らば、せめてもの名目とぢや。恰ど戲事の樣ぢやが、何事も和平の爲、右京殿。如何御坐らうナ。』極めて柔和やかに口輕に云つて長秀はまじ〳〵と右京亮の顏を見た。

三法師と云つても、それがまだ片言を云はれるのさへ、覺束無い位であるから、其弟御の飛龍丸は、まだはひ〳〵も出來ぬ赤兒、但し、故相國信長の嫡男、贈左大臣信忠の遺兒としては、此二人の幼兒あるのみで……。

『あの飛龍丸殿を、人質にと……』

『これさ、これさ、それでは言に角が立つ。何の、唯、あの和子をお伴ひ申して、三法師樣に、お逢はせ申すぢやまで、それが名目……』

『委細畏まつて御坐いまする。』

『オヽ〳〵。承知御坐つてか、逆變の無い樣に、確とナ。』

『ハツ。』右京亮は聊か不安の思ひがせぬでも無かつたが、兎に角此場は和平とさへならばと云ふのであるから、と、馬を走せて歸掀した。

首を長うして待ちかまへて居た信孝に他の重役共。

『右京、何とぢやつた？』と其顏を見るより急ぎ問うた。

『和平の儀、何の仔細も無う、祝著……』と右京はまづ斯う云つた。

『出來いた……』と信孝は膝を打つた。

『それにつき……』『世俗に所謂三世相、始めが善うて後惡しと云ので、彼は出來得る限り、秀吉と長秀との誠意を語つて、さて飛龍丸の事を、最後に手輕に云つた。

『何、あの赤兒をとか、ハ、ハ、ハ、ハ、。』と信孝は笑つたが、座にあつた齋藤玄蕃頭は苦々しき面持して。

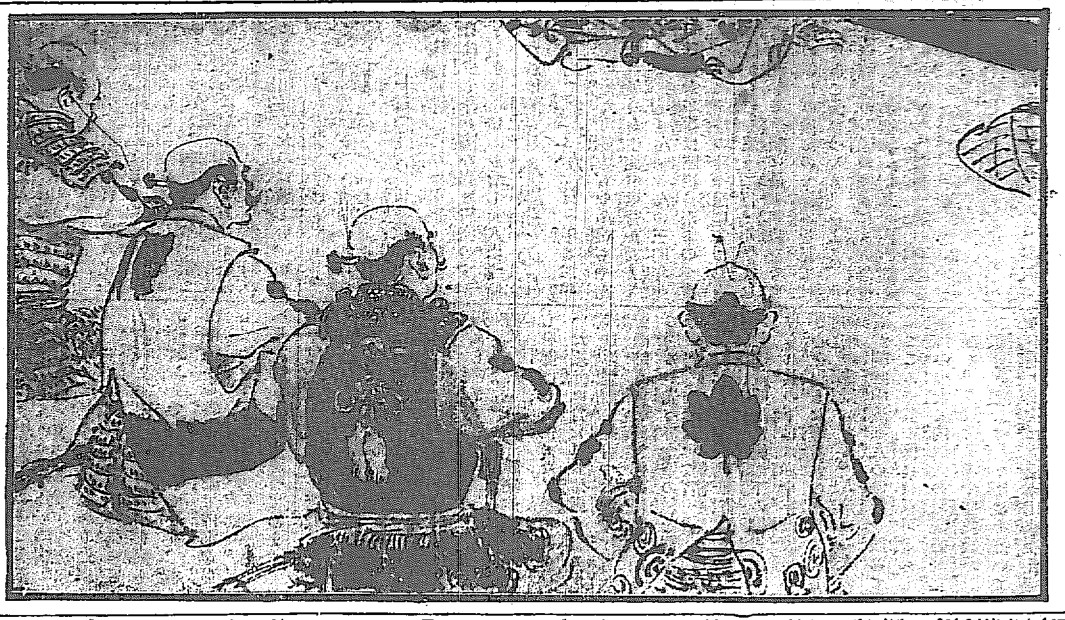
『はて、さて、これは些と、難題御坐るナ。して、右京！其方や、それ、承知のしてか。』

『ハツ。何事も急ぎ御和平との仰せ且は御當家が後の御計畫も、承り居りましたる故……』

『和平は急ぐ。ぢやが、後の計畫の爲、あの和子を人質として安土へ參らすは……』

『イエ、其あながち人質と云でも……』

『默らつしやい！名目は何でも、眞實は人質ぢや。如何に、御幼年とは云へ、あの飛龍丸殿を安土へ參らすは、以ての外の不利ぢやッ。』と齋藤玄蕃は大音聲で云ひ放つた。



五百年來家傳製法　一家の經濟は御臺所にあり安くて滋養になるのは　司味噌　一升限り・電話にて御注文被下候はゞ直に御屆致し升　京城太平通二丁目　遠藤商店　電話九八二番

オンドル會

○夏帽　鳴原
オルガンと夏帽と夕陽射す部屋に
演習見る夏帽白う照れる丘
夏帽を見始む溫泉町の寄席夕べ
街尻に海見えて夏帽の水兵が

○　逸鹿
夏帽の煌きて夜網干せる磯
海の靜かさ夕燒くる夏帽の風
夏帽買ひし歸路强き陽に乾く町
釣りす兒の夏帽包む汽車後の煙

○　德谷洞
夏帽の草隱れ渦へ諸ひ逆る
酸裡遊ぶ夏帽の兒に枝垂る花
海一ト眠の丘に夏帽忘れあり

○　虛靜樓
登校の夏帽に輕う朝の風
夏帽と魚籃見せ一トツ瀨へ釣れる
信號旗弄ぶ夏帽の兒等

○　芳宙
夏帽を染む落日に眠る湖
汐の香の新たなる旅具と夏帽子

○綿の花　虛靜樓
島畑は花綿の月夜飛ぶ鷗
花綿に落つる陽暑う澄む瀨音
瀨擾りを花綿畑の洲に伸びて
花綿に釣り暮るゝ川上の靄
鍬も馴れし氣安さ綿は咲き出でし

○　逸鹿
花綿に唄襲うチゲの淋し顏
黍を隔てゝ花綿ほでり鳴く鶴
心冷めたう人造る花綿の徑
風の流く花綿や閑ある次の汽車

○　鳴原
果樹園となる花綿の丘起伏
瓜小屋に蚊帳も見つ綿の花
花綿に枝張る畑の柿巨樹
峠越えて遠霤を綿の花に來し

○　德谷洞
花綿の淺黄夕空蜂弱う來て
毛蟲にや飽葉塗る花綿の雨

○　芳宙
面事務所の屋根光る花綿の陽
江に沿ひて馬車京し丘は綿の花
郊替受を見に出づる花綿の月

▲オンドル會課題▼
●同好諸君の投句を歡迎す
一、九月二十日締切（老、砧、露）
一、十月十日締切（每月、蜜柑、秋の蝶）
一、十一月十五日締切（霜柑、水仙、冬の蝿）
一、秋冬雜題（無期日）（句數無制限）
●屆先　平壤府…町オンドル會

詞壇

送蝦農江南翁之鎭南浦五首　芙蓉　犧生十郎

詩酒尋盟歲已過。秋風回首感如何。今朝此別君須記。香恨新愁我最多。
和無唱者無和。黄葉靑燈奈爾何。一別料知千里外。憶君最是酒前多。
卓犖奇才獨絕群。如今底事寂無聞。都門未必成名地。好水好山遠送君。
大器豈安無大用。憐君寂寞光風塵。斯文未滅須珍重。德不孤兮必有鄰。
遠望關西路幾千。樽前秋色轉淒然。慰吾貧甚餞無物。手寫離愁寄一箋。

風雨即事
風雨侵來八月秋。乾坤鳴動不容休。叱聲何讓强秦暴。忽倒芭蕉忽石榴。
評云、語外意深。

秋夜
山色泉聲夜氣幽。長天一碧露華流。淸遊不必憑絲竹。茶半香初月滿樓。
評云、宛然晩唐口氣。

雁南飛
四鄰寥寂客來稀。月影桂香滿竹扉。想起家山新釀熟。天邊夜々雁南飛。

得家書有感
人情世態與年非。萬里秋風一褐衣。倘得家書眞可擲。東籬培菊待吾歸。
評云、壓卷

失題
公無見用私無助。大抵人情貧後疎。一夜燈前吾笑我。平生所學果何書。
評云、世態人情、言得巧妙。

全篇皆珠玉。讀去讀來。有錚々之聲。能解世態人情者。僅誦得焉。吾兒在漢數年。浮薄世味。又能悟之。句中有識。一讀三嘆。
九月十日　鐵城居士妄批多罪

消毒防臭はフイセル

新刊と批評（批評希望者は寄贈局宛御送本のこと）

▲人生訓　三宅雪嶺、前田利夫編此書は三宅博士の執筆して書籍又は雜誌等に掲載されたるものゝ中より特に選擇して人生訓となしたるものなり（東京牛込區神樂町東亞堂書房一圓）

▲歷史講座（文學博士喜田貞吉著）本書は著者が多年調査したる歷朝帝都の沿革大要を一般讀書家に見易き樣取り纏めて編纂したるものにて歷史研究者には必讀の著たり（東京小石川區表町百九日本學術普及會八十錢）

▲最近の鮮滿（松本正寬著）著者親しく滿鮮兩地を視察して詳細に其の見聞を述べたるものなり殊に支那に於ける列國の經濟及び支那の狀態を詳說せし者は支那研究者には必讀の書たり（東京神田區裘神保町三東京堂一圓廿錢）

▲露西亞の戰線より（大庭景秋著）著者大阪每日新聞特派員として親しく露軍に從軍して戰線各地に未曾有の大戰を觀戰せし人也歸來此著あり戰爭に關する最も確實なる著なると共に讀中日露戰爭の有樣現然たる感あり二讀三讀を禁ぜざらしむ（東京神田區富山房九十錢）

大阪株式特電　十六日後場

九月限	一一〇、〇〇	一一〇、五〇
十月限	一一一、〇〇	一一一、三〇
十一月限	一一二、九〇	一一三、〇〇

下關期米　十六日後場

…錢の入荷薄高川不中中九圓〇九錢先九圓十錢さ先錢高に寄付一錢と一歩棒けたるも買物…

▲比邊一呼咲手

▲後場付小康

九月限	千四百石	
十月限	九千三百五十石	
十一月限	三萬二千石	

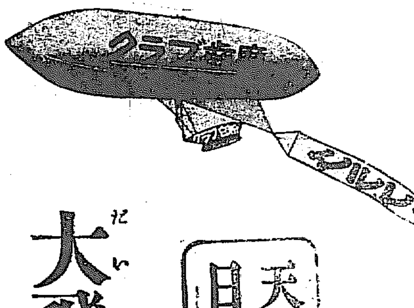
縞セル地　一反僅か一圓九十錢
景品新案博多女帶無代進呈

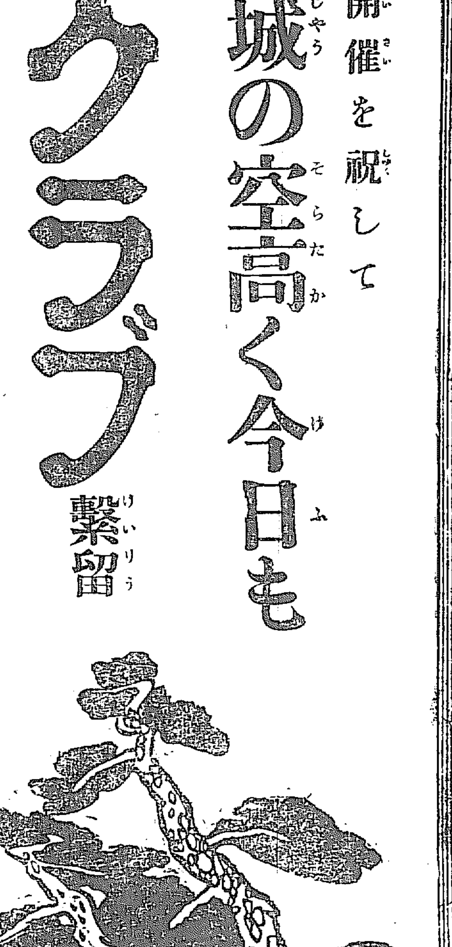
東京市淺草北三筋町二番地吳服問屋神山商店は過般來織物暴落の際機敏に買占めたる一見舶來十圓の品に遜色なき嶄新流行の縞セルを勿驚一反金一號二圓五十錢二號一圓九十錢と云ふ破天荒の捨値投賣し其上今回は替金の都合上一時に持品を賣果す策として特に一千反限り新案博多女帶地を一反毎に無代進呈の由何分類なき大安賣の爲如湧大好評にて山なす注文に大盛況を極めつゝあり希望者は此絶好機を逸せず至急ハガキに男女年頃を記し注文せば代金引換小包送料實費にて發送する由なり

月やく
止り他の藥用ひを効なき御方は他に類なき水藥にて害なく下りる良藥三錢切手封入御手紙下さい至急御知らせ申します　靜岡縣舞阪町　西村屋

胃病新藥　マーゲン　最新快治法
特約店　京城南大門通二　新井藥房　大阪上本町五　田畑保藥房

共進會開催を祝して
京城の空高く今日も
クラブ繫留大飛行船揚る！





天下一品　日本名物
クラブ齒磨本店の
大飛行船揚る！
晝は雄姿堂々
夜は光輝燦然
共進會の空高く！

日本郵船仁川出帆

○大連大沽牛莊行
高砂丸　九月十九日　正午出帆
三河丸　十月　日　正午出帆
相模丸　九月廿八日　正午出帆
仁川海岸町一丁目　電話十二番　堀回漕部

朝鮮郵船

全羅丸　△九月廿五日
京畿丸　△十月五日
黄海丸　九月十九日
咸鏡丸　九月廿九日　釜山發
（門司より釜山各港寄港…△印は元山釜山間直航す）
昌平丸　九月廿日　元山發
密城丸　九月十六日　元山發
竹島丸（元山より各港經由雄基行）九月二十日　元山發
忠清丸（城津、淸津、浦潮行復航釜山經由門司）九月　日　元山發
永興丸（北久味、五里浦行又は長崎延長）每月廿八回　元山發
嘉島丸（甘浦、九龍浦、浦項各港寄港慶尙行）九月十八日　釜山發
江陵丸　雲陽丸（長生浦、方魚津寄港）每日（釜山浦項）發
鐵道及汽船外船と荷客運賃連絡の便あり、詳細は支店出張所、代理店、荷客取扱店に御照會あれ
京城南大門驛前　松原運送店（電話長一一七〇）

三浦丸　長承浦、絕水、巨文島、濟州島各港行　九月十六日　釜山發
海州丸　巨濟丸　統營丸　慶寶丸　各港經由麗水行（三日目一回木浦行）每日　釜山發
順天丸　各港經由麗水行麗水より釜山行に接續　三日目每　木浦發
慶興丸　一、各港經由濟州島行（月八回）九月十七日　木浦發
公州丸　一、南多島海列島行（月三回）九月　日　木浦發
宗信丸　海州仙各港經由、鎭南浦行　九月廿二日　仁川發
江原丸　靑島直行、大連、芝罘行　九月二十日　仁川發
龍水丸　初鷹丸　各港經由木浦行　九月二十日　九月廿四日　仁川發
全州丸　南陽丸　江華島、喬桐島、海州行　每日午前　仁川發
平安丸　往航大黑山、木浦、群山行　復航門司、一木浦、群山行　九月廿七日　九月廿二日　群山發　若松發

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戶大阪行
秀吉丸　九月廿二日後五時出帆
君が代丸　九月　日後四時出帆
神代丸　九月　日後四時出帆
大有丸　九月十八日後五時出帆
土海丸　○群山、大阪行　日後四時出帆
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行
小倉丸　九月　日後五時出帆

大阪商船仁川出帆

○元山城津浦鹽行　小倉丸　九月　日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行　立神丸　九月　日後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行　立神丸　九月十六日後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、淸津行　第三琴平丸　九月　日後九時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行　第三琴平丸　九月　日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　大興丸　每月二日九日十六日廿一日廿六日　午後十時出帆
本町取扱店　大池回漕部
○中國四國沿岸各港行一割引を以て連絡切符發賣仕候
○外航所屬航路（遠洋航路を除く）間連絡御乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行　×津州丸　九月廿六日　溫州丸　九月三十日　×漢城丸　九月廿二日　午後五時出帆
○木浦、釜山、長崎行（△は嚴原廻り浦に寄港）×安東丸　九月廿四日　×△天智丸　九月十九日　午後二時出帆
○鎭南浦、大連行　×安東丸　九月廿　日　×天智丸　九月廿八日　午後二時出帆
○鎭南浦關門神戶大阪行　漳州丸　九月　日　正午五時出帆
○群山、釜山、横濱行　△須磨丸　九月十八日　△チヨイサン丸　九月廿八日　午後四時出帆
○大連直行　△千珠丸　十月三日　△チヨイサン丸　九月廿三日　正午出帆
○元山、淸津、浦潮行（釜山出帆）（△は城津西湖津に寄港浦汐不寄港）　宮島丸　九月廿七日　神宮丸　九月十七日　△城津丸　九月廿二日　午後九時出帆
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）　基隆丸　九月廿三日　新高丸　十月十一日　午前四時出帆
御注意　○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣　○貨物船客は一時間前御乘船御持參有之度候　○×印は一等客御斷り　△印は船客御斷り
仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二一〇番　五五〇番
京城切符發賣所　內國通運會社支店　電話七八〇番

阿波共同汽船仁川出帆

共同丸　芝罘、大連行　九月十五日後七時入港　九月十七日前九時出港
朝鮮西海岸定期航路荷客連絡にて大連芝罘行定期船に接續荷客共直通取扱仕候と同時に荷物取扱可仕候
第二阪鶴丸（元山出帆）　城津、淸津、浦潮行（元山出帆）　九月　日　九月　日後九時出港
第三共同丸（元山出帆）　西湖津沿岸各港を經て雄基行　九月二十日　九月　日前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店　本町一丁目（電話一〇八番）　山下回漕部
元山代理店　榮町（電話二四四七番）　田口回漕部
京城取次店　南大門（電話二六八、二〇一七）　河村運送店